akrobat / 杂技 /  
　- 選定理由: 中国語で「アクロバット(曲芸)」を表す標準的な語が「杂技」。1文字では適当な字が無く、2文字熟語の中では比較的画数も少なめ。  
　- 学習コスト: 「杂(9画)」「技(7画)」はいずれも他の言葉にも応用しやすい常用字。

* monopol / 独占 /  
  　- 選定理由: 「独占」は日本語でも「独占」と書き、意味が通じる。中国語では「垄断」の方が経済学的に正式だが、「独占」も通じやすい。画数的にもやや抑えめ。  
  　- 学習コスト: 「独(9画)」「占(5画)」。今後「独」を「一人」「独立」などにも流用可能。
* monomani / 偏执 /  
  　- 選定理由: 「偏执狂」は「パラノイア(偏執狂)」の意味で広く知られるが、2文字に抑えるなら「偏执」も「偏執(的思い込み)」を指し示す表現として無難。  
  　- 学習コスト: 「偏(9画)」「执(6画)」。若干画数は多めだが、他候補(「偏执狂」など3文字)より短縮。
* solecism / 语病 /  
  　- 選定理由: 「语病」は「言葉(文章)の誤り」を指す簡潔な常用表現。「谬误(誤り)」もあるが、文法違反のニュアンスには「语病」が適当。  
  　- 学習コスト: 「语(9画)」「病(10画)」。どちらも初級～中級レベルで学ぶことが多い。
* monolog / 独白 /  
  　- 選定理由: 「独白」は「一人語り・モノローグ」の定訳。中国語でも舞台や文学で用いられる。  
  　- 学習コスト: 「独(9画)」「白(5画)」。上記の「独占」でも「独」を使用しており重複利用可能。
* monoton / 单调 /  
  　- 選定理由: 「単調な」の意味に最も一般的な簡体字表現が「单调」。  
  　- 学習コスト: 「单(8画)」「调(10画)」。やや画数は多いが、中国語では非常に頻出の組み合わせ。
* unison / 齐奏 /  
  　- 選定理由: 音楽用語の「ユニゾン」は中国語で「齐奏」が一般的(「齐唱」「齐奏」など)。  
  　- 学習コスト: 「齐(6画)」「奏(9画)」。いずれも音楽関連で再利用しやすい。
* liber / 自由 /  
  　- 選定理由: 「自由」は日中共通で「free」の意味を表す最も基本的な単語。  
  　- 学習コスト: 「自(6画)」「由(5画)」。ともに頻出のため習得メリット大。
* liberal / 自由主义 /  
  　- 選定理由: 政治思想としての「リベラル」は中国語で「自由主义」が一般的(「自由派」などもあるが本来は“主義”が対応)。  
  　- 学習コスト: 「自由(前項で登場)」＋「主义(主=5画＋义=3画)」。すでに「自」「由」を使っているため、新規導入は「主」「义」の2字。
* improviz / 即兴 /  
  　- 選定理由: 「即兴」は「即興」の意で、中国語の定番表現。1文字化は困難なので2文字で対応。  
  　- 学習コスト: 「即(7～9画と数え方により差)」「兴(6画)」。よく使われる熟語なので覚えやすい。
* spontane / 自发 /  
  　- 選定理由: 「自发(的)」は「自発的」「自然に起こる」「スパontaneous」の意味で用いられる。  
  　- 学習コスト: 「自(6画)」「发(5画)」。既出の「自」を再利用。
* kapric / 任性 /  
  　- 選定理由: 「気まぐれ・わがまま・勝手な」の意に近い。「任性」は日本語圏でも「任性」と書くので意味が取りやすい。  
  　- 学習コスト: 「任(6画)」「性(8画)」。次の arbitr と同じ「任」を再利用。
* arbitr / 任意 /  
  　- 選定理由: 「任意」は「arbitrary」を指す非常に一般的な2文字熟語。  
  　- 学習コスト: 「任(6画)」「意(13画)」。前項「任性」と「任」を共有。
* naturalism / 自然主义 /  
  　- 選定理由: 芸術上の「自然主義」は中国語で「自然主义」が最も定番。  
  　- 学習コスト: 「自然(既出)」＋「主义(前出)」。新規要素は特になく、合成で対応可能。
* natur / 自然 /  
  　- 選定理由: 「自然」は最も直接的な訳語。既に複数回出ているため再利用可能。  
  　- 学習コスト: 「自(6画)」「然(12画)」。頻出のため学習メリットも大。
* instinkt / 本能 /  
  　- 選定理由: 「本能」は日本語・中国語共に同形同義で分かりやすい。  
  　- 学習コスト: 「本(5画)」「能(10画)」。常用であり、応用範囲も広い。
* aŭtograf / 亲笔 /  
  　- 選定理由: 「自笔」は中国語ではあまり一般的でなく、「亲笔(自身の手で書いた)」が通例。サイン・筆跡を指す文脈に合う。  
  　- 学習コスト: 「亲(9画)」「笔(10画)」。やや画数多めだが意味は分かりやすい。
* aŭtobiografi / 自传 /  
  　- 選定理由: 「自传」は「自伝」を意味する標準的な表記。  
  　- 学習コスト: 「自(6画)」「传(6画)」。すでに「自」は多用。新出「传」(伝の簡体)も比較的頻度高め。
* individu / 个人 /  
  　- 選定理由: 「个人」は「個人」を意味する中国語の基本表現。  
  　- 学習コスト: 「个(3画)」「人(2画)」。非常に画数が少なく学習コストが低い。
* propr / 固有 /  
  　- 選定理由: 「固有」は「そのものに本来備わっている性質」を示す。日中いずれも馴染みのある表現。  
  　- 学習コスト: 「固(8画)」「有(6画)」。常用字であり応用もしやすい。
* privat / 私人 /  
  　- 選定理由: 「私人」は「私的な/プライベート(個人所有・個人的)」を指す短い熟語。  
  　- 学習コスト: 「私(7画)」「人(2画)」。いずれも基本字で覚えやすい。
* aŭtonom / 自治 /  
  　- 選定理由: 「自治」は「自ら治める」→自治の意味に最も直接的。  
  　- 学習コスト: 「自(6画)」「治(8画)」。既出「自」の再利用により負担軽減。
* mem / 自己 /  
  　- 選定理由: 「自己」は「自分自身」を表すのに中国語でも常用。「亲自」「本⼈」なども近いが、汎用性は「自己」が最も高い。  
  　- 学習コスト: 「自(6画)」「己(3画)」。すでに「自」は多用しているため追加は「己」のみ。
* antipod / 对跖 /  
  　- 選定理由: 「対蹠地(=地球上で正反対の地点)」は中国語で「对跖点」などと書くのが通例。2文字に省略し「对跖」。  
  　- 学習コスト: 「对(5画)」「跖(12画)」。特殊用語ゆえ少し難しいが妥当な簡略形。
* kontrapunkt / 对位 /  
  　- 選定理由: 音楽理論での「対位法」は中国語で「对位」が基本。「对位法」と3文字になる場合もあるが、2文字で十分通じる。  
  　- 学習コスト: 「对(5画)」「位(7画)」。上項の「对」を再利用。

paradoks

* + 提案漢字: 悖论
  + 理由: 中国語で「パラドックス」に相当する標準的な訳語は「悖论」です。日本語の「逆説」とは字面が異なるものの、中国語では「悖论」が定着しています。
  + 学習コスト: 新規2文字（「悖」「论」）。いずれも日本語話者にはやや馴染みが薄いかもしれませんが、中国語圏では意味が明確に通じます。

1. invers
   * 提案漢字: 逆
   * 理由: 「逆」は「反対方向」「逆方向」「反転」を意味し、inverse・reverse のニュアンスに最も近い単字です。
   * 学習コスト: 新規1文字。日本語の「逆」と同形で、意味も通じやすい。
2. mal
   * 提案漢字: 反
   * 理由: エスペラントで「mal-」は「正反対」を表す接頭辞で、中国語の「反」(反対・逆) と非常に対応が良い。
   * 学習コスト: 新規1文字。「反」は今後、他の「反対」「反抗」などにも使い回せる可能性が高い。
3. rezist
   * 提案漢字: 抗
   * 理由: 中国語の「抵抗」「抗拒」など「抗」を含む表現が多く、意味がわかりやすい。
   * 学習コスト: 新規1文字。以降、同じ「抗」を「protest（抗議する）」にも再利用可能。
4. konflikt
   * 提案漢字: 争
   * 理由: 本来は「冲突」が標準的ですが、単字化を優先し画数を抑えるため「争」を採用。「争」は「争う/争い」で「衝突」「対立」など「コンフリクト」に近いニュアンスを伝えられる。
   * 学習コスト: 新規1文字。「争」は日本語でも馴染みがあり、中国語でも「争论」「战争」など多用される。
5. antipati
   * 提案漢字: 厌
   * 理由: 「嫌う」「嫌悪する」「うんざりする」といった否定的感情を示す単字として、「厌」を採用。中国語で「厌恶」「厌倦」などにも使われる。
   * 学習コスト: 新規1文字。日本語話者にも「厭う」という形で比較的認知しやすい。
6. opozici (動詞: 政治的に反対する)
   * 提案漢字: 反
   * 理由: 政治的反対(反対派)を表す標準的表記は「反对」だが、単字化のため「反」を再利用。
   * 学習コスト: 既出文字(3番の「mal」と同じ「反」)。語頭に付く「mal-」とは区別が必要だが、同じ字を使い回す方針により学習コストを削減。
7. opozici## (名詞: 政治的反対)
   * 提案漢字: 反
   * 理由: 上と同様。「opozici」との語形違い(動詞/名詞)だが、同一字「反」を使い回す。
   * 学習コスト: 既出文字「反」を再利用。
8. protest
   * 提案漢字: 抗
   * 理由: 「抗議」を表す中国語は「抗议」。単字化のため「抗」を流用。
   * 学習コスト: 既出文字(4番「rezist」と同じ)。
9. opon

* 提案漢字: 反
* 理由: 「(に)反対する」という意味。すでに「反」を割り当てているので再利用が自然。
* 学習コスト: 既出文字「反」。

1. ekstaz

* 提案漢字: 狂
* 理由: 本来「狂喜(=エクスタシー)」が近いが2文字になるため、単字「狂」で「狂乱」「熱狂」のイメージを表す。
* 学習コスト: 新規1文字。

1. apostrof

* 提案漢字: 撇号
* 理由: 中国語ではアポストロフィを「撇号(piěhào)」と呼ぶのが通例。単字での対訳は存在しないため2文字割当とする。
* 学習コスト: 新規2文字（「撇」「号」）。やや画数が多くなるが、他に単字適用が難しい。

1. abiturient

* 提案漢字: 毕
* 理由: 「毕业(卒業)」の「毕」を単字で転用。高等学校卒業を示す語根に近いイメージを一字で表せる。
* 学習コスト: 新規1文字。「毕」は卒業・完了の意味合いが広く中国語圏では理解しやすい。

1. pasiv

* 提案漢字: 被
* 理由: 中国語の文法で受身を示す際、「被」を用いるのが一般的。
* 学習コスト: 新規1文字。日本語にも「被告」「被害者」などで用いられるため意味を連想しやすい。

1. diplom

* 提案漢字: 证
* 理由: 本来「文凭」が標準訳だが、単字「证」(証明書・証書)である程度「免状」「資格証明」の意味をカバー。
* 学習コスト: 新規1文字。日本語の「証」と同形(旧字体は「證」)なので連想可能。

1. laks

* 提案漢字: 泻
* 理由: 「下痢」は中国語で「腹泻」。単字化として「泻」(流れ出す、下痢)が最も近い。
* 学習コスト: 新規1文字。「泄」と混同に注意が必要だが、「泻」は下痢文脈で使われる。

1. dispepsi

* 提案漢字: 未対応
* 理由: 「消化不良」を単字で表すのは困難。熟語「消化不良」は4文字となり学習コストが高い。ここでは割当を見送る。
* 学習コスト: (割当なし)

1. marasm

* 提案漢字: 弱
* 理由: 極度衰弱のニュアンスを簡体字1文字にするのは難しいが、「弱」(よわい)で衰弱・虚弱を連想可能。
* 学習コスト: 新規1文字。日本語「弱い」と同形。

1. letargi

* 提案漢字: 昏
* 理由: 「昏睡」「昏倒」など意識が朦朧とする状態を表す。昏睡=lethargy/stuporに近い。
* 学習コスト: 新規1文字。

1. fiask

* 提案漢字: 败
* 理由: 「失败」は「失敗」「挫折」を意味し、fiasco(大失敗)を端的に表しやすい。単字化で「败」を採用。
* 学習コスト: 新規1文字。

1. mis

* 提案漢字: 误
* 理由: エスペラントの「mis-」接頭辞(誤り)を、中国語の「错误」「误解」などに用いる「误」で表現。
* 学習コスト: 新規1文字。

1. erar

* 提案漢字: 误
* 理由: 「(を)誤る」「間違える」の動詞的用法。すでに「mis」用に割当済みの「误」を再利用。
* 学習コスト: 既出文字「误」。

1. deficit

* 提案漢字: 亏
* 理由: 「亏损(赤字・損失)」の「亏」で「不足・欠損」のニュアンスが通じる。
* 学習コスト: 新規1文字。比較的画数が少なく、日本語の「亏」は馴染み薄いが、中国語圏では「赤字」「損失」を連想できる。

1. mank

* 提案漢字: 欠
* 理由: 「欠けている」「不足している」を簡潔に表す単字。「欠陥」「欠席」などでも使われ、日本語・中国語とも通じやすい。
* 学習コスト: 新規1文字(4画)で画数が少なく学習しやすい。

1. perd

* 提案漢字: 失
* 理由: 「失う」「失去」を端的に示す最も基本的な漢字。
* 学習コスト: 新規1文字(5画)。日本語の「失敗」「失恋」などからも意味を連想しやすい。

pesimism / 悲观 / 「悲观(=悲観)」は日本語話者にも意味が分かりやすい / 新規(悲・观)

* pesimist / 悲观者 / 「悲观」に「者」をつけて「悲観論者」を表現 / 「悲观」とは重複利用で、者(新規)のみ追加
* sentimental / 感伤 / 中国語で「感傷的」に相当。日本語「感傷」に近い / 感(やや画数多)、伤(少) ともに新規
* nostalgi / 怀旧 / 中国語で「懐旧・懐かしむ」に相当。日本語でも「懐(怀)」「旧」は意味を推測しやすい / 怀・旧 ともに新規
* splen / 忧郁 / 「憂鬱(病)」に近い表現。中国語でも「忧郁」は「メランコリー」的 / 忧・郁 ともに新規
* melankoli / 忧郁 / 「憂鬱」とほぼ同義なので同じ熟語を割当 / 既出(5番と同じ「忧郁」)
* kriz / 危机 / 中国語で危機を表す一般的熟語 / 危・机 ともに新規
* panik / 恐慌 / 中国語で「恐慌」はパニックを指す常用表現 / 恐・慌 ともに新規
* embaras / 尴尬 / 当惑や気まずさを指す標準的な中国語表現 / 尴・尬 ともに新規
* aflikt / 苦恼 / 「苦悩」「悩ませる」ニュアンスに近く、中国語でも常用 / 苦・恼 ともに新規
* angor / 苦闷 / 「苦悶」「苦しむ」感を表しやすい / 苦(既出)・闷(新規)
* malic / 恶意 / 「悪意」の中国語標準形 / 恶・意 ともに新規
* aĉ / 劣 / 「粗悪・劣悪」のイメージを1文字に集約 / 新規
* fi / 卑 / 「下劣」「卑しい」を示す1字で、日本語圏もイメージしやすい / 新規
* negativ / 负 / マイナス的・否定的を1字で象徴(「负面=ネガティブ」など) / 新規
* minus / 减 / 「マイナス」「引き算」を連想できる代表的1字 / 新規
* anarki / 无政府 / 「無政府状態」を表す標準的な中国語熟語 / 无・政・府 ともに新規
* anakronism / 时代错误 / 「時代錯誤」の中国語表現として一般的(やや専門用語) / 时・代・错・误 ともに新規
* skism / 分裂 / 「(団体の)分裂」の意味に合致 / 分(画数少)・裂(やや多) ともに新規
* ĥaos / 混沌 / 「混沌」の漢訳として一般的 / 混・沌 ともに新規
* kaos / 混沌 / 上記同義語なので同じ割当 / 既出(20番と同じ「混沌」)
* kalendar / 日历 / 「日」+「历」でカレンダーを指す / 日(新規)・历(新規)
* almanak / 年历 / 「年」+「历」で「年鑑」や「年暦」のイメージに近い / 年(新規)・历(既出)
* kronik / 年代记 / 編年史=「年代记」の形で簡潔に / 年(既出)・代(既出)・记(新規)
* kronologi / 年表 / 「年代学」→「年表」が直感的かつ簡潔 / 年(既出)・表(新規)

horloĝ / 钟 / 「鐘(とけい)」の意味が分かりやすく、時計を想起しやすい / すでに使っている部首は特になし。比較的画数(9画)は多めだが、「表」だと“表面”など他義が多く混乱しやすいため「钟」を採用。

1. akurat / 准 / 「準(正確な)」「準時(時間厳守)」を連想しやすい / 新規使用。10画だが、“正確さ”“時間厳守”のニュアンスを1字で示しやすい。
2. temp / 时 / 「時間(时)」を直接表す1字で明快 / 以後「hor」にも流用予定なので学習コスト削減になる。
3. hor / 时 / 「時(小时, 時刻)」に相当。「temp(時)」と同字割当だが区別は読み・表記上で行う / 既出字「时」を再利用し、総漢字種類を抑える。
4. zenit / 天顶 / 「天の頂」を意味する熟語で分かりやすい / 「天」(本リスト後半にも登場)と「顶」(“いただき”の意味)の組合せ。2文字だが直感的。
5. eklips / 蚀 / 「月食」「日食」で使われる“蚀”を1字で / 新規使用。画数(9画)はあるが、日/月「食(しょく)」のイメージに直結。
6. vesper / 晚 / 「晩(夕方)」「傍晚(夕暮れ)」などで馴染みがあり、意味が取りやすい / 新規使用。11画とやや多いが、中国語でも日本語でも「夕方」を連想できる。
7. nokt / 夜 / 「夜(夜间)」を1字で端的に表せる / 新規使用。8画。
8. maten / 早 / 「早(朝)」「早晨(あさ)」の意味が明快 / 新規使用。6画で書きやすい。
9. krepusk / 昏 / 「昏(くらい, 薄暗い)」「黄昏(たそがれ)」を想起させ、朝夕の薄明を連想しやすい / 新規使用。8画。厳密には“夕方”寄りだが、1字で「薄明」を示す手段として採用。
10. ĉiel / 天 / 「天空」「天の様子」などを想起しやすく、日中両言語で意味を取りやすい / 今後(12番など)でも再用。画数4画で学習しやすい。
11. ĉiel## / 天 / (上と同根扱い)「天」「空」 / 既出字「天」を再利用し、重複を減らす。
12. spac / 空 / 「空(くう)」「空间(空間)」を連想できる / 新規使用(画数8画)。日本語の「空(そら)」とも関連し、覚えやすい。
13. kosm / 宇宙 / 「cosmos(宇宙観)」に対応、最も一般的な二字熟語 / 新規使用。2文字だが広く通用し、日本語・中国語いずれも直感的。
14. univers / 宇宙 / 「universe(宇宙)」に対応。上記「kosm」と同義だが、漢字は使い回し / 14番と同じ「宇宙」を再利用し、学習コストを抑える。
15. raket / 火箭 / 「ロケット」の標準的訳語 / 新規使用。2文字(「火」4画+「箭」15画)だが、中国語圏で非常に分かりやすい。
16. stel / 星 / 「星(ほし)」を直接表す基本字 / 新規使用(9画)。
17. planed / 行星 / 「惑星」の標準表記 / 2文字(「行」6画+「星」9画)。1字だと「星」と重複して“星全般”に。惑星を区別するため熟語採用。
18. komet / 彗星 / 「彗星(すいせい)」で通用 / 2文字(「彗」11画+「星」9画)。1字「彗」だけでは伝わりにくいため、熟語で明確化。
19. efemer / 短暂 / 「短くて儚い」ニュアンスを持つ熟語。 / 新規使用(「短」12画+「暂」8画=20画)。やや画数多めだが意義がはっきり伝わる。
20. lavang / 雪崩 / 「雪崩」の標準表記 / 新規使用(「雪」11画+「崩」11画=22画)。1字では難しいため2字熟語。
21. frivol / 轻浮 / 「軽率」「軽薄」の意味がはっきりする熟語 / 新規使用(「轻」8画+「浮」10画=18画)。
22. inkognit / 微行 / 古来よりある「(貴人が)お忍びで外出する」意味。簡潔 / 新規使用(「微」13画+「行」6画=19画)。他候補「匿名」なども近いが、“お忍び”のニュアンスとしてこちらを選択。
23. et / 小 / 縮小辞・小さいイメージに直結 / 新規使用(3画)。非常に基本的で学習が容易。
24. jun / 年轻 / 「若い」を最も直接的に表す中国語熟語 / 新規使用(「年」6画+「轻」8画=14画)。1字化すると誤解が生じやすいため2文字採用。

knab / 少年 / 「boy」の意味として日中ともに比較的わかりやすい / 単字「少」だと「少ない」の意味が強く混乱を招くため、2文字熟語「少年」を採用

1. cigan / 吉普赛 / ジプシーを表す中国語の一般的な音訳 / 単字では表しづらい外来概念のため、やむを得ず3文字表記
2. pigme / 侏儒 / 「小柄な人・ピグミー」の意。「侏」(背が低い)＋「儒」(ここでは「人」のニュアンスに近い)で「小人」を指す / 単字「侏」でも「小人」の意だが、2文字熟語のほうが定着
3. kanajl / 匪 / 「匪」は「ならず者・匪賊」の意。悪党・ごろつきを端的に示す / 「悪棍」や「歹徒」など2文字もあるが、1文字で済む「匪」を優先
4. kramp / 夹 / 「はさむ・かすがい・クランプ」の意に近く、画数が比較的少ない / 日本語では「挟」に相当するが、簡体字で画数を抑えた「夹」を採用
5. pokal / 杯 / 杯全般を指す1文字。ゴブレット・さかずきなど「杯」は広義に使いやすい / 単字で通じやすい
6. pioĉ / 镐 / 「つるはし」を表す最も代表的な簡体字 / 画数は多めだが、単字で「つるはし」を示す他の適切案が少ない
7. ĉarnir / 合页 / 「ちょうつがい」を指す簡体字熟語 / 単字表記が存在せず、かつ2文字で比較的コンパクトなので「合页」を採用
8. stup / 渣 / 「麻くず・(繊維)くず」のように“かす”や“残渣”を表せる単字 / 厳密には「麻渣」等が正確だが、1文字化優先で「渣」を提案
9. bek / 喙 / 「くちばし」を意味する代表的単字 / 簡体字・日本語双方で“鳥のくちばし”の意味が通りやすい
10. funel / 漏斗 / じょうごを表す一般的な2文字熟語 / 単字が存在しないため2文字で対応
11. lam / 跛 / 「足の不自由な」「びっこの」という意味に近い単字 / 「瘸」もあるが画数がより少ない「跛」を優先
12. balbut / 口吃 / 「どもる・吃音」を示す代表的熟語 / 1文字で「どもる」意は難しいため2文字「口吃」を採用
13. jug / 轭 / 「くびき・轭」を表す簡体字 / 単字で意味がはっきりしており画数も少なめ
14. rukt / 嗝 / 「げっぷ・しゃっくり」の音を指す単字 / 「打嗝」は2文字だが、1文字「嗝」で“嗝をする”ニュアンスが通じる
15. ĝib / 驼 / 「こぶ(特にラクダのこぶ)」「曲がった背」を連想させる字 / 「駝(驼)背」で「猫背/曲がった背」を意味するため転用が容易
16. tuber / 节 / 「こぶ・節・塊状」をイメージさせる汎用性のある字 / 厳密には「瘤」「疙瘩」などもあるが、画数を抑えて「節」の簡体字「节」を優先
17. ĉifon / 破 / 「ぼろぎれ・破れ・壊れた」の概念に近い単字 / 厳密には「破布」「烂布」などの2字もあるが1文字「破」で対応
18. kojn / 楔 / 「くさび」を意味する代表的な単字 / 他に候補がなく、やむを得ず画数は多めでも「楔」
19. dorn / 刺 / 「トゲ・刺す」を表す単字 / 日中ともに常用であり画数も少なめ
20. veruk / 疣 / 「いぼ」を指す代表的な単字 / 日本語では常用外だが、中国語圏では「wart」を示す文字として認識される
21. roman / 长篇 / 「長編小説」の省略形として一般的(「长篇小说」も可) / 2文字で「長編」の意が明確
22. novel / 小说 / 「小説」全般を指す簡体字熟語 / 短編小説にも使われ、日中で広く通じる
23. tragikomedi / 悲喜剧 / 「悲喜劇」の標準的表現 / 3文字だが中国語圏でこの表記が定着
24. dram / 剧 / 「戯曲・劇」を最も端的に示す単字 / 既出「悲喜剧」の「剧」と同じ字を再利用

komedi

* + 提案漢字: 喜剧
  + 選定理由: 「喜劇」の簡体字表記であり、中国語母語話者・日本語母語話者の双方にとって意味が分かりやすい。
  + 学習コスト等: 「喜」(12画)と「剧」(10画)の2文字からなるが、「剧」は後述で他の語にも使いやすい(「劇」関連を表す)可能性がある。

1. histori
   * 提案漢字: 史
   * 選定理由: 「歴史」(日本語)や「历史」(中国語)に含まれる単一字。「史」自体が「歴史」の意を有する。
   * 学習コスト等: 5画と画数も少なく、覚えやすい。単字で「歴史」を示せるので重宝。
2. biografi
   * 提案漢字: 传记
   * 選定理由: 現代標準中国語で「伝記」を表す一般的な語。「传」だけでも古典的には「列伝」等で伝記を示すが、現代では「传记」の方が誤解が少ない。
   * 学習コスト等: 「传」(6画)と「记」(5画)の2文字。どちらも頻出字なので後々使い回しが期待できる。
3. alegori
   * 提案漢字: 寓言
   * 選定理由: 中国語で「寓言」は比喩・象徴を含んだ物語や寓話全般を指し、アレゴリー(たとえ話)にも対応しやすい。
   * 学習コスト等: 「寓」(11画)＋「言」(7画)の計18画とやや多いが、後述の「fab(l)」等とも共有できる可能性がある(寓言=寓話・例え話)。
4. anekdot
   * 提案漢字: 轶事
   * 選定理由: 「逸話」の簡体字表記。中国語の一般的な言い方。「逸」の簡体が「轶」。
   * 学習コスト等: 「轶」(9画)と「事」(8画)。「事」は後述の「事件」「事故」などにも使われるので使い回し可能。
5. fabl
   * 提案漢字: 寓言
   * 選定理由: 「寓話」の中国語表現として定着している。実際、「alegori(寓言)」と重複する面があるが、どちらも「寓言」として通用しやすい。
   * 学習コスト等: すでに上記(4)で「寓言」を割当済みなので、全く同じ字で対応可能。追加学習コストはゼロ。
6. fabel
   * 提案漢字: 童话
   * 選定理由: 「童話」の簡体字表記。中国語では「童话」が「子ども向けの物語」を意味する。
   * 学習コスト等: 「童」(12画)＋「话」(7画)。どちらも中国語学習初期によく出る常用字。
7. legend
   * 提案漢字: 传说
   * 選定理由: 中国語で「伝説」を意味する一般的な表現。「传奇」もあるが、ややニュアンス(物語的・武侠的)が強い場合が多いので「传说」を推奨。
   * 学習コスト等: 「传」は(3)で既出、「说」は(7)の「话」と同じ「讠」偏を含むため、偏旁学習の効率は悪くない。
8. mit
   * 提案漢字: 神话
   * 選定理由: 中国語で「神話」を表す標準的な言い方。
   * 学習コスト等: 「神」(9画)＋「话」(7画)。すでに「话」は(7)「童话」と同じ字。
9. sort

* 提案漢字: 命运
* 選定理由: 中国語で「命运」は「運命」「宿命」を表す代表的な語。
* 学習コスト等: 「命」(8画)＋「运」(7画)。後述する「運」関連の割当にも流用できるかもしれない。

1. fatal

* 提案漢字: 宿命
* 選定理由: 日本語の「宿命」にかなり近く、中国語でも同様の意味を持つ。
* 学習コスト等: 「宿」(11画)＋「命」(8画)。(10)「命运」と一部重複。

1. event

* 提案漢字: 事件
* 選定理由: 「事件」は「出来事」「事柄(特に重大なもの)」を意味し、英語の“event”の感覚に比較的近い。
* 学習コスト等: 「事」(8画)は(5)・(16)等と同じ、「件」(6画)もごく一般的な字。

1. epizod

* 提案漢字: 插曲
* 選定理由: 中国語で「挿話的エピソード」「合間に挿入される小話や出来事」などを示す言い方として使われる。
* 学習コスト等: 「插」(10画)＋「曲」(6画)。画数は中程度。

1. eventual

* 提案漢字: 可能
* 選定理由: 「起こり得る」＝「可能性がある」というニュアンスを中国語の常用表現に合わせた。
* 学習コスト等: 「可」(5画)＋「能」(10画)。どちらも頻出のため学習価値が高い。

1. okaz

* 提案漢字: 发生
* 選定理由: 中国語の「发生」は「起こる」「発生する」の意で、エスペラント“okaz(起こる)”に対応しやすい。
* 学習コスト等: 「发」(5画)＋「生」(5画)で比較的画数は少なめ。

1. akcident

* 提案漢字: 事故
* 選定理由: 「事故」は日本語・中国語ともに同形(簡体字でも同じ)で、偶発的な不測の出来事を指す。
* 学習コスト等: 「事」は(5)(12)等と同じ字、「故」(9画)は中国語でもよく使う。

1. ŝanc

* 提案漢字: 机会
* 選定理由: 「機会」「チャンス」に対応する中国語の一般的表現。
* 学習コスト等: 「机」(6画)＋「会」(6画)。いずれも初級で学ぶ頻出字。

1. hazard

* 提案漢字: 偶然
* 選定理由: 「偶然」「思いがけない」出来事・状況を示す表現として広く使われる。
* 学習コスト等: 「偶」(11画)＋「然」(12画)でやや多めだが、意味の分かりやすさを重視。

1. atavism

* 提案漢字: 返祖
* 選定理由: 「返祖現象」と呼ばれる、祖先の形質が隔世遺伝的に現れる意味を直接表す。
* 学習コスト等: 「返」(7画)＋「祖」(9画)。二字熟語だが、概念を簡潔に伝えられる。

1. genealogi

* 提案漢字: 家谱
* 選定理由: 中国語で「家谱」は家系図・系譜を指す。
* 学習コスト等: 「家」(10画)＋「谱」(13画)。「谱」は“楽譜”や“谱系”などで使用頻度が一定ある。

1. etnografi

* 提案漢字: 民族志
* 選定理由: 「民族誌(学)」をそのまま表現する中国語の一般的な書き方。
* 学習コスト等: 「民」(5画)＋「族」(11画)＋「志」(7画)と三文字だが、「民族」はしばしば(22)(23)(24)あたりとも関連し、学習価値あり。

1. ras

* 提案漢字: 种族
* 選定理由: 中国語で「種族」「人種」を示す際、現代語でよく使われるのが「种族」。
* 学習コスト等: 「种」(7画)＋「族」(11画)。どちらも後述や前述で重複利用し得る。

1. gent

* 提案漢字: 族
* 選定理由: 「民族」「氏族」「部族」などの「族」の部分を単字で割り当て。
* 学習コスト等: (22)(21)などですでに使う「族」と同じ。文字重複でコスト削減。

1. etn

* 提案漢字: 民
* 選定理由: 「民族(人種)」の「民(people)」を抽出し、単字化。「etn(エスニック)」の核心イメージに合致する。
* 学習コスト等: (21)「民」(5画)はすでに登場しており、重複利用できる。

1. human

* 提案漢字: 仁
* 選定理由: 「人間的・人道的・博愛的」などを総合して表す際、中国語・日本語ともに「仁」は“人間味ある慈愛”を示す字として伝わりやすい。
* 学習コスト等: 「人」でなく「仁」を使うことで「思いやり・ヒューマニズム」のニュアンスを強調。画数はわずか4画と少ない。

ul / 者 /

* + 選定理由: 「ul」は「～の人」を表す接尾辞なので、「者」が最も近い機能をもつ単字。日中双方で「～の人」というニュアンスで用いられる。
  + 学習コスト: 画数は8画だが、他の用例（～者）にも使えるため汎用性が高い。

1. oni / 众 /
   * 選定理由: 「oni」は「人々」「不特定の人たち」を指すエスペラントの非人称代名詞。中国語の「众」は「大勢・多数の人」という意味で、「不特定多数の人々」のニュアンスに近い。
   * 学習コスト: 4画で比較的シンプル。日本語話者にも「衆(旧字)」として意味を連想しやすい。
2. hom / 人 /
   * 選定理由: 「hom」は「人間・人」を意味する最も基本的な語根。中国語の「人」はまさに“人間”を指す字であり、最適。
   * 学習コスト: 2画と非常に少ない。日中ともに同じく「人」と認識しやすい。
3. person / 人 /
   * 選定理由: 「person」も「人」を意味するため、「hom」と同じ「人」を再利用。
   * 学習コスト: すでに「hom」にも割当済みのため、新規文字は増えない。区別は振り仮名等で補う。
4. pleb / 民 /
   * 選定理由: 「pleb」は「平民」「一般民衆」を意味し、中国語「民」には「人民・庶民」の意があるため対応がよい。
   * 学習コスト: 5画。広く「民衆・一般人」を表す字として汎用性が高い。
5. civil / 民 /
   * 選定理由: 「civil」は「市民の・民間の・文民の」などの意味。中国語で「民用」「平民」の「民」と対応させやすい。
   * 学習コスト: 既出の「民」を使い回し。
6. naci / 国 /
   * 選定理由: 「naci」は「国民・国家・民族」を表す語根。中国語の「国」は「国家」「国」を指し、最も直接的。
   * 学習コスト: 8画。国家概念を表す基本字として妥当。
7. popol / 民 /
   * 選定理由: 「popol」は「人民」「国民」「大衆」を指す。中国語の「人民」「平民」「公民」など「民」を含む語が多いため、「民」再利用。
   * 学習コスト: 既出文字で重複割当。
8. civilizaci / 文明 /
   * 選定理由: 「civilizaci」は「文明」を意味し、漢語としても「文明」が定着している。1字で“文明”を示すのは難しいため2文字熟語を選択。
   * 学習コスト: 新たに「文(4画)」「明(8画)」を導入。ただし「文」は文化関連で再利用可能性が高い。
9. social / 社 /

* 選定理由: 「social」は「社会的な・社会の」を意味し、中国語で「社会(shèhuì)」の「社」を用いて簡略化。
* 学習コスト: 7画。やや画数はあるが、「社会」の略記として把握しやすい。

1. soci / 社 /

* 選定理由: 「soci」は「社会」を指す語根。「social」と同じく「社」で対応可能。
* 学習コスト: 既出文字の再利用。

1. prolet / 无产 /

* 選定理由: 「prolet」は「プロレタリア（無産階級の一員）」を表す。中国語の「无产(阶级)」が近い概念。最小限2文字で「无产」とした。
* 学習コスト: 新たに「无(4画)」「产(5画)」。今後「无」や「产」は他の派生語で再利用可能性あり。

1. proletari / 无产 /

* 選定理由: 「proletari」も「プロレタリア階級」を意味し、本質的に12)と同義の派生なので同じ「无产」を流用。
* 学習コスト: 既出の「无产」を再利用。

1. nomad / 游牧 /

* 選定理由: 「nomad」は「遊牧民」を意味する。中国語では「游牧(の人々)」という表現が最も一般的で、2文字熟語「游牧」が対応可。
* 学習コスト: 新規に「游(12画)」「牧(8画)」。ただし放棄するよりは概念対応を優先。

1. koloni / 殖民 /

* 選定理由: 「koloni」は「植民地」「植民・コロニー」を表すため、中国語「殖民(地)」のうち2文字部分を転用。「殖」1字のみでは誤解が生じやすいため「殖民」。
* 学習コスト: 新規「殖(10画)」「民(既出)」。実質「殖」のみ追加。

1. indiĝen / 土著 /

* 選定理由: 「indiĝen」は「先住民・土着民」。中国語の「土著」は「土着の人々、原住民」という意味で適合。
* 学習コスト: 新規「土(3画)」「著(11画)」。比較的わかりやすい2字熟語。

1. patriot / 爱国者 /

* 選定理由: 「patriot」は「愛国者」。中国語では「爱国者」が一般的で正確。
* 学習コスト: 新規「爱(10画)」「国(既出)」「者(既出)」。実質「爱」のみ追加。

1. ŝovinism / 沙文 /

* 選定理由: 「ŝovinism」は「沙文主义」を指すが、最小限2文字で「沙文」と略される場合もあり対応可能。
* 学習コスト: 新規「沙(7画)」「文(既出)」。概念上は「沙文主义」の略形と理解する。

1. ŝovinist / 沙文者 /

* 選定理由: 「ŝovinist」は「沙文主义者」。フル形は「沙文主义者」(5字)だが、短縮し「沙文者」でも意味が通じやすい。
* 学習コスト: 「沙(既出)」「文(既出)」「者(既出)」のみで対応。

1. nepotism / 裙带 /

* 選定理由: 「nepotism」は「裙带关系」（親族縁故主義）の略形として「裙带」を提示。中国語では「裙带关系」が定訳だが、簡略化対応。
* 学習コスト: 新規「裙(13画)」「带(5画)」。1字で表す手段がないため2字熟語を採用。

1. filantrop / 慈善家 /

* 選定理由: 「filantrop」は「博愛主義者・慈善活動家」。中国語で「慈善家」が最も通じやすい。
* 学習コスト: 新規「慈(13画)」「善(12画)」「家(10画)」。やや画数は多いが、意味は的確。

1. filantropi / 慈善 /

* 選定理由: 「filantropi」は「博愛・慈善(行為)」。中国語でも「慈善」が既存の2字熟語。
* 学習コスト: 「慈(既出)」「善(既出)」のみで済む。

1. panteism / 泛神论 /

* 選定理由: 「panteism」は「汎神論」。中国語では「泛神论」が定訳。1字化は困難のため3字熟語を採用。
* 学習コスト: 新規「泛(7画)」「神(9画)」「论(6画)」。概念的に一括で覚える単位とする。

1. panteist / 泛神论者 /

* 選定理由: 「panteist」は「汎神論者」。中国語は「泛神论者」が通例。
* 学習コスト: 「泛(既出)」「神(既出)」「论(既出)」「者(既出)」で対応。

1. ego/ist## / 利己者 /

* 選定理由: 「egoist」は「利己主義者」だが、フルで書くと「利己主义者」(5字)になるため、簡略に「利己者」。
* 学習コスト: 新規「利(7画)」「己(3画)」「者(既出)」。比較的短縮形で分かりやすい。

optimism

nginx

Copy

optimism / 乐观主义 /

「乐观(＝楽観)」は「optimistic」を意味し、中国語圏でも「乐观主义(optimism)」が定訳。

「主义」は各種イデオロギーの統一表現として流用。

/ 「乐」「观」「主」「义」は他の～主义形でも再利用可能。

1. optimist

nginx

Copy

optimist / 乐观主义者 /

「optimism + 者」で「楽観主義者」。中国語でも「乐观主义者」は通じる。

/ 「者」は「～する人」を示す汎用要素として再利用可能。

1. oligarki

nginx

Copy

oligarki / 寡头政治 /

「寡头」は「oligarch」の意味が通じる語。後半の「政治」で「～制(～cracy)」を表す。

/ 「寡」「头」「政」「治」は他の政治形態にも共通で使う方針。

1. oligarĥi

css

Copy

oligarĥi / 寡头政治 /

「oligarki」と同義の語根なので同じ対応「寡头政治」で統一。

/ 新規要素は同上（重複利用）。

1. oligark

nginx

Copy

oligark / 寡头 /

「寡头」は「少数で富・権力を握る者」という意味。

/ 「寡」「头」は先に出現済みで学習コストを増やさない。

1. oligarĥ

Copy

oligarĥ / 寡头 /

「oligark」と同義なので同じく「寡头」で統一。

/ 同上。

1. plutokrat

nginx

Copy

plutokrat / 财阀 /

「plutocrat」は「富や財閥的権力を握る人物」。中国語では「财阀」などが近い。

/ 「财」「阀」は後述のplutocracyにも流用可。

1. plutokrati

nginx

Copy

plutokrati / 财阀政治 /

「plutocracy」は「金権政治」や「財閥による政治」。ここでは「财阀政治」を採用。

/ 「财」「阀」「政」「治」は既出要素の組合せ。

1. demagog

nginx

Copy

demagog / 煽动家 /

デマゴーグ＝煽動者。標準的には「煽动者」「煽动家」など。ここでは「煽动家」。

/ 「煽」「动」「家」は今後“政治家”等にも応用可能。

1. demokrat

nginx

Copy

demokrat / 民主主义者 /

民主主義者。～主義者系は「～主义者」で統一。

/ 「民」「主」「义」「者」は後述のdemokrati(民主政治)などと関連。

1. demokrati

nginx

Copy

demokrati / 民主政治 /

「democracy」＝民主政治。イデオロギーとしての「民主主義」は「民主主义」もあるが、

ここでは政治形態として「～政治」を採用。

/ 「民」「主」「政」「治」は他の～政治にも使い回せる。

1. konservativ

nginx

Copy

konservativ / 保守 /

「保守的」「保守派」を表す際によく使う語。1文字でなく2文字「保守」が簡明。

/ 「保」は「保护国」にも出現予定、重複活用可能。

1. protektorat

nginx

Copy

protektorat / 保护国 /

「protectorate」＝保護国。中国語では「保护国」の形が一般的。

/ 「保」「护」「国」は政治・国名などでも多用される要素。

1. diktator

nginx

Copy

diktator / 独裁者 /

「独裁＋者」で「独裁者」。中国語でも定訳的。

/ 「独」「裁」「者」は autokrat, diktat 等の語にも流用可能。

1. tiran

nginx

Copy

tiran / 暴君 /

「tyrant」の意味で中国語では「暴君」が通例。「専制君主」などもあるが、簡便性で「暴君」に。

/ 「暴」「君」は後の君主関連と併用が効く。

1. despot

nginx

Copy

despot / 专制君主 /

「despot」＝「専制君主」。中国語では「专制君主」「暴君」など複数表現あるが、ここでは前者を採用。

/ 「专」「制」「君」「主」は他の autokrat (专制者) 等と重複利用可能。

1. aŭtokrat

css

Copy

aŭtokrat / 专制者 /

「autocrat」＝「専制の支配者」。独裁者に近く、中国語では「专制者」。

/ 「专」「制」「者」はすでに複数回登場、学習コストを抑えられる。

1. imperi

nginx

Copy

imperi / 帝国 /

「empire」＝「帝国」。

/ 「帝」「国」は imperialism(帝国主义) でも再利用見込みが高い。

1. imperialism

nginx

Copy

imperialism / 帝国主义 /

「帝国主義」。中国語でも「帝国主义」が定訳。

/ 「帝」「国」「主」「义」は既出文字の組合せ。

1. monarĥi

css

Copy

monarĥi / 君主制 /

「monarchy」。中国語の「君主制」が相当。

/ 「君」「主」「制」は despot 等にも登場済みのため重複利用可能。

1. monarki

nginx

Copy

monarki / 君主制 /

綴り違いの同義語根なので、同じ「君主制」で統一。

/ 新規要素なし。

1. aŭtokrati

css

Copy

aŭtokrati / 专制政治 /

「autocracy」＝専制政治。中国語では「专制政治」「专制统治」などが用いられる。

/ 「专」「制」「政」「治」は既出の組み合わせ。

1. teokrati

nginx

Copy

teokrati / 神权政治 /

「theocracy」＝神権政治。中国語では「神权政治」が一般的。

/ 「神」「权」「政」「治」は既出要素との組合せ。

1. aristokrati

nginx

Copy

aristokrati / 贵族政治 /

「aristocracy」＝貴族政治。中国語で「贵族政治」と表現可能。

/ 「贵」「族」「政」「治」は今後の他語にも応用できる。

1. ateism

nginx

Copy

ateism / 无神主义 /

無神論。標準訳「无神论」もあるが、本リストは「～主义」をイデオロギーに統一するため

「无神主义」として提案。

/ 「无」「神」「主」「义」はすべて既出や類似要素(神)の組合せで学習コストを抑制。

ateist / 无神论者 / 「無神論者」の中国語表現。単に「无神」よりも「无神论(者)」のほうが、宗教否定の立場であることが明確 / 「无」「神」「论」「者」は他の“～主义者”系とも類似構造を持つため、学習コストはそれほど高くない

1. nihilism / 虚无主义 / 中国語で「ニヒリズム」は「虚无主义」が一般的 / 「虚」「无」「主」「义」はよく使われる要素(虚=空、无=ない、主=主、义=義(理念))
2. nihilist / 虚无主义者 / 「ニヒリスト」を中国語で表現するときは「虚无主义者」 / 「者」は「～な人」を示す共通要素
3. racional/ism## / 理性主义 / 「合理主義」「理性主義」に相当。「理性主义」は中国語で「rationalism」の定訳 / 「理」「性」「主」「义」はすでに他語根でも登場する可能性がある要素
4. racional/ist## / 理性主义者 / 「合理主義者」「理性主義者」に相当 / 「者」で“人”を表すのは他と同様
5. pacifism / 和平主义 / 「平和主義」は中国語で「和平主义」が定訳 / 「和」「平」「主」「义」などは既出・今後も繰り返し登場しうる要素
6. pacifist / 和平主义者 / 「平和主義者」＝「和平主义者」 / 「者」で“人”を表す
7. meĥanism / 机制 / 「メカニズム(機構・仕組み)」を指す場合、中国語では「机制」が一般的 / 「机」「制」は比較的画数も少なく、他の単語(机械など)とも関連
8. mekanism / 机械 / 「メカニズム」のうち、機械的構造・機器寄りのニュアンスを強調するなら「机械」(「机械原理」など)がしばしば用いられる / 「机」は先の「机制」と共通
9. kemi / 化学 / 「化学」は日中ともに同じ表記で意味が明確 / 「化」「学」は非常に頻出する要素で学習優先度も高い
10. ĥemi / 化学 / 「kemi」と同義(エスペラントにおける ĥ→k の歴史的経緯)なので同じ「化学」を付与 / 同上
11. dinamik / 动力学 / 「力学」の中でも特に“動力学”“力の働きや変化”に着目した分野をイメージ。「ダイナミクス(dynamics)」に対応 / 「动」「力」「学」は画数も比較的少なく再利用しやすい
12. meĥanik / 力学 / 「メカニクス(mechanics)」。物理学分野での力学を指す標準的訳語 / 「力」「学」は既出
13. mekanik / 力学 / 上記と同義扱い。エスペラントでは「meĥanik / mekanik」ともに力学を指すので、同じ「力学」を割り当て / 同上
14. faksimil / 传真 / 「ファクシミリ」は中国語で「传真(機)」と言うのが一般的 / 「传」「真」はセットでFAXを連想しやすい
15. feminism / 女权主义 / 「フェミニズム」は中国語では「女权主义」(女性の権利主義)が定訳 / 「女」「权」「主」「义」は把握しやすい
16. feminist / 女权主义者 / 「フェミニスト」は「女权主义者」 / 「者」を付与して“人”を表す
17. maksim / 格言 / 「金言」もありうるが、中国語圏では「格言」がより一般的・通用度が高い / 「格」「言」は名言や警句にも通じる表現
18. etim / 词源 / エスペラントで「etimo」は単語の語源(原義)を指す。「词源」が「etymon」「語源」に近い / 「词」「源」は語彙学習で頻出
19. prism / 棱镜 / プリズムは「棱镜」が定訳 / 「棱」「镜」は光学実験などでも出現頻度が高め
20. gotik / 哥特 / 建築様式「ゴシック」は中国語で「哥特式」と表されることが多い。ここでは略して「哥特」 / 「哥」「特」は音訳系表現で、日中ともに「ゴシック」を連想しやすい
21. grotesk / 怪诞 / 「グロテスクな」を表すには中国語では「怪诞」が一般的 / 「怪」「诞」は怪異・奇抜を示す語として認識しやすい
22. plastik / 造型 / 造形術(立体物の創作)を指す場合、中国語では「造型(艺术)」などと言う / 「造」「型」は造形・製作関連で再利用可能
23. formul / 公式 / 数式や書式のフォーマットも含め、「公式」は中国語で「formula」に最も直結 / 「公」「式」は計算式や表記法でも頻出
24. form / 形 / 形状・フォルムの意。「形」は日中でほぼ同意 / 画数も少なく、学習コストは低め

figur

* + 提案: 形
  + 選定理由: 「形」は「形状」「形態」などの語から「外形・輪郭・図形」のイメージを連想しやすく、画数も比較的少ない。
  + 学習コスト: 単独1文字。日本語の「形」、中国語の「形(形状)」として互いに意味をつかみやすい。

1. politik
   * 提案: 政
   * 選定理由: 「政治」を直接連想する代表的な字。日本語「政治」、中国語「政府/政治」など、「政」で政治的なニュアンスを十分に表せる。
   * 学習コスト: 既出なしの新規1文字だが、日本人・中国人ともに馴染み深い字。
2. taktik
   * 提案: 术
   * 選定理由: 中国語「战术(戦術)」の「术」で、軍事的な戦術や具体的な戦法・スキルを示す。
   * 学習コスト: 画数が少なく(4～5画程度)、簡潔。「策略」の「略」と区別することで「戦術」と「戦略」を分けやすい。
3. strategi
   * 提案: 略
   * 選定理由: 中国語「战略(戦略)」の「略」。同じく「省略」「略図」など「大枠の構想・方針」を連想させる。
   * 学習コスト: 新規1文字だが、「术」と合わせて「战术(戦術)」「战略(戦略)」という対応がわかりやすい。
4. statistik
   * 提案: 统计
   * 選定理由: 中国語で「統計」を意味する一般的な熟語。日本語「統計」に近い。1文字では表しにくいため2文字を採用。
   * 学習コスト: 「统」「计」いずれも比較的画数は多くない(「统」は糸偏＋充, 「计」は言偏/讠＋十)。
5. financ
   * 提案: 财
   * 選定理由: 「財(富)」「財務」「財政」など、「お金・財政・金融」の連想が強い単字。
   * 学習コスト: 1文字で済むので学習コストを抑えられる。日本語圏でも「財」の簡体字とわかりやすい範囲。
6. ekonomi
   * 提案: 经济
   * 選定理由: 中国語で「経済」を示す標準的な熟語。「経」「済」のどちらか1文字ではカバーしにくいので2文字を採用。
   * 学習コスト: 合計2文字。「経済」のイメージが日中双方で共有しやすい。
7. scienc
   * 提案: 科学
   * 選定理由: 中国語・日本語ともに「科学」を指す熟語として定着。1文字「科」や「学」だけではやや不十分。
   * 学習コスト: 「科」「学」は頻出文字。すでに他語根でも「学」を再利用予定があり、学習負担を下げられる。
8. erudici
   * 提案: 博学
   * 選定理由: 「博学」は「広い知識・博識」を表し、中国語・日本語どちらも同様の意味。
   * 学習コスト: 2文字だが「学」は既出(科学など)再利用。「博」は新規。
9. skolastik

* 提案: 经院
* 選定理由: 中国語で中世「经院哲学(スコラ哲学)」を指すときの略語的要素。「経院哲学」の核心部分を2字に短縮。
* 学習コスト: 「经」は「经济(経済)」で既出の文字と同形(簡体)、新規は「院」のみ。

1. filozof

* 提案: 哲人
* 選定理由: 「哲人」は「賢人・哲学者」の意味を持つ熟語。日中ともに「哲人」で「哲学者的な賢者」を連想しやすい。
* 学習コスト: 「哲」は新規だが「人」は基本字。

1. filozofi

* 提案: 哲学
* 選定理由: 「哲学」は日中共通で通じる標準表現。
* 学習コスト: 「哲」は前項で既出。「学」は「科学」等で既出。

1. pedant

* 提案: 学究
* 選定理由: 中国語にも日本語にも「学究」は「学問バカ」「学者ぶった人」というやや古風な含意があり「pedant」に近い。
* 学習コスト: 「学」は既出。「究」は新規だが常用。

1. metafizik

* 提案: 形而上学
* 選定理由: 日中で「形而上学」が標準の訳語(メタフィジカ/形而上学)。省略が難しいため4文字を採用。
* 学習コスト: 「形」は既出(figur)。新規は「而」「上」「学(再利用)」。計4文字だが、うち2文字は既出。

1. katekiz

* 提案: 教理
* 選定理由: 「カテキズム(教理問答)」を指す代表的な2文字表現。
* 学習コスト: 「教」「理」は新規だが、他の宗教関連語で使う可能性がある。

1. kateĥiz

* 提案: 教理
* 選定理由: 上と同義の語根。同じ割当で区別なし。
* 学習コスト: 同上。

1. stoik

* 提案: 坚忍
* 選定理由: 「stoic(ストア学派のような禁欲的・我慢強い姿勢)」を連想する2字熟語。日中ともに「堅忍」「坚忍」は「苦難にも耐え抜く」含み。
* 学習コスト: 2文字とも新規だが、意味は把握しやすい。

1. dogm

* 提案: 教条
* 選定理由: 中国語「教条(教条主义)」、日本語「教条」で「ドグマ」(宗教的・硬直的な教義)に相当。
* 学習コスト: 「教」は15で既出。「条」は新規。

1. ism

* 提案: 主义
* 選定理由: 中国語で「主義」を意味する最も標準的な2文字。
* 学習コスト: 「主」は基本字、「义」は新規(簡体の「義」)。

1. doktrin

* 提案: 学说
* 選定理由: 中国語「学说」は「学説・学理・理論・教説」の意味を広く含み、「doktrin」をカバーしやすい。
* 学習コスト: 「学」は既出、「说」は新規。

1. stenografi

* 提案: 速记
* 選定理由: 中国語で「速記」を意味する一般的な熟語。日本語「速記」にも近い。
* 学習コスト: 「速」は新規(やや画数多め)、「记」は「言偏＋己」で5画と少なめ。

1. sintaks

* 提案: 句法
* 選定理由: 中国語で「句法」は「文の構文・統語法」を指し、syntaxに近い。
* 学習コスト: 「句」は新規(5画)、「法」は後述でも再利用予定。

1. gramatik

* 提案: 语法
* 選定理由: 中国語で「文法」を意味する最も代表的な表現。
* 学習コスト: 「语」は新規(言偏＋五)、画数は比較的少なめ。「法」は22と同じ。

1. retorik

* 提案: 修辞
* 選定理由: 中国語「修辞」は「修辞学・レトリック」に対応する一般的表現。日本語の「修辞法」とほぼ同義。
* 学習コスト: 2文字とも新規だが、他の言語学関連語で再利用の可能性あり。

1. ortografi

* 提案: 正字法
* 選定理由: 中国語で「正字法」は「正しい文字の書き方」を示す専門用語。日本語「正字法」と同系。
* 学習コスト: 「正」「字」「法」の3文字。「法」は既出(句法・语法)なので新規は「正」「字」のみ。

interpunkci / 标点 / 標準的な「句読点」の意味合い / 単独1文字では難しく2文字「标点」が中国語圏で広く通用

1. stil / 文体 / 「文体・スタイル」を直接表し、日本語・中国語ともに把握しやすい / 「文」「体」はどちらもよく使われる常用字
2. ideografi / 表意 / 「表意文字方式」の核心を2文字で簡略化 / 1文字「意」では曖昧なので「表意」を採用
3. liter / 字母 / 「文字（アルファベット）」を端的に示す標準表現 / 1文字「字」では意味が広すぎるため2文字に
4. alfabet / 字母表 / アルファベット全体を示す標準表現 / 「字母」と「表」の組合せで意味が明確
5. aforism / 格言 / 警句・アフォリズムを表す一般的表現 / 「警句」より画数が少なく、日本語でも通用
6. epigram / 警句 / 機知に富む短い警句のニュアンス / 既出「格言」と近義だが、別の2文字を割り当て区別
7. siluet / 剪影 / 「シルエット」を表す最も一般的な語 / 「影」は既知語だが「剪影」が定着した表現
8. spektr / 光谱 / 物理用語「スペクトル」の定訳 / 単独1文字は困難、2文字で簡潔に対応
9. helic / 螺旋桨 / 「プロペラ」の標準表記 / 「螺旋(らせん)」＋「桨(かい)」で構造を示す
10. spiral / 螺旋 / 「らせん」そのものを表す常用語 / 前項と字を部分的に共有
11. cikl / 周期 / 「サイクル」を意味する最も直接的な語 / 同一の概念として日中とも馴染みがある
12. period / 周期 / 「周期・期間」の意。前項と同一語を転用 / 新規漢字を増やさず学習コストを抑制
13. procesi / 行列 / 宗教行列・行進を表し得る / 「処理」との区別のため、本来の「行列」を優先
14. vic / 列 / 単純に「列・行・隊列」 / 1文字で明解、学習コスト低
15. seri / 系列 / 「連続・シリーズ」を指す一般的表現 / 既出「列」を再利用、「系」は新規
16. spec / 类 / 「種類・種別」を示す1文字 / 「种类」を縮約し学習コスト低減（画数10）
17. klasifik / 分类 / 「分類」そのもの / 「类」を再利用しつつ「分」を追加
18. klas / 班 / 「クラス（集団）」を短縮化 / 社会的「階級」より学校等の「班」イメージで簡略
19. kategori / 类别 / 「カテゴリー」の訳として一般的 / 「类」を再利用、「别」を新規追加
20. sistem / 体系 / 「システム・体系」を指す / 「体」「系」いずれも既出(※文体・系列で使用)
21. reĝim / 政体 / 政治の仕組みとしての「政体・レジーム」 / 「体」は再利用、「政」は新規
22. ord / 顺序 / 「順序・秩序」を指す常用語 / 新規は「顺」「序」だが広く認知
23. hierarki / 层级 / 「階層・ヒエラルキー」を表す常用表現 / 「层」「级」共に新規だが2文字で要領よく表す
24. net / 清稿 / 清書（きれいな下書き・最終稿）の意 / 「清」は常用、「稿」はやや画数多だが用例的に無難

manuskript / 稿 / 「稿」は「原稿・草稿」を表し、中国語でも「稿件」などで「下書き・原稿」を意味する / 新規割当

* kajer / 册 / ノート(练习本・笔记本)に近い小冊イメージ。「小册子」にも使われる「册」を流用 / 新規割当
* broŝur / 册 / 小冊子(小册子)のイメージに合致。同上の「册」を使い回し / 既出「册」
* arkiv / 档 / 「档」は「档案(公文書・記録)」を表す。古文書(=アーカイブ)にも近い / 新規割当
* arĥiv / 档 / 4)と同義の“アーカイブ”ゆえ同字「档」を再利用 / 既出「档」
* paper / 纸 / 紙(紙)の直訳。「纸」は日本語「紙」と同源で分かりやすい / 新規割当
* dokument / 档 / 文書全般→「文件」「公文」等に使われる「档」に集約 / 既出「档」
* registr / 录 / 登録・記録(记录)の“記録”にあたる部分。中国語「登录」「记录」などの「录」 / 新規割当
* protokol / 录 / 議事録(会议记录=“会议纪要”)などの「～録」に相当。「录」を再利用 / 既出「录」
* etat / 表 / 明細書(明细表)＝“表”形式で項目を並べるイメージが強い / 新規割当
* faktur / 单 / 仕切書(請求書・発票)→「账单」「发票单」等に含まれる“单”を流用 / 新規割当
* album / 册 / アルバム(影集・画册・集邮册)→小冊・綴じ物のイメージで「册」 / 既出「册」
* volum / 卷 / 巻(书卷, 卷册)に対応。巻物や“～巻”の概念の「卷」 / 新規割当
* libr / 书 / 本を指す最も基本的な字。「书」は日本語「書」と同源 / 新規割当
* ekzempler / 册 / 一冊(一部)の意→「一册」(一册书など)の感覚で「册」を再利用 / 既出「册」
* cirkuler / 单 / 回覧状(传单/通知单)のイメージ。チラシ(传单)の“单”を流用 / 既出「单」
* prospekt / 册 / 内容説明書(小册子, 说明册等)→小冊子イメージで「册」再利用 / 既出「册」
* sinoptik / 略 / 概要・要約=“略”の概念(概要=简要/大略など)。あえて単字「略」 / 新規割当
* menu / 单 / メニュー(菜单)→“菜单”の後半「单」を活用 / 既出「单」
* katalog / 录 / 目録(目录)の「录」を抽出し、既存の「录」に集約 / 既出「录」
* tabel / 表 / 一覧表(一览表)、表形式→「表」が最適 / 既出「表」
* list / 单 / 一覧表(清单/列表)の「单」を流用 / 既出「单」
* telegram / 电 / 電報(电报)の略記→“电”(電気・電話・電報 いずれも頭文字“电”) / 新規割当
* orografi / 山 / 山岳誌(山岳・地形)。山のイメージは「山」が最も端的 / 新規割当
* forum / 坛 / フォーラム(论坛)の後半字「坛」(壇)。議論の場を示す / 新規割当

revu

* 提案: 刊
* 理由: 「雑誌」「刊行物」「定期刊行」などのニュアンスを1文字で比較的表しやすい。「期刊」(2文字)よりも簡潔。
* 学習コスト: 既出文字の中でも画数が少なく(5画)、日本語で「刊行」「朝刊」などに見られる漢字なのでイメージしやすい。
* gazet
* 提案: 报
* 理由: 中国語の「报纸」(新聞)から取り、新聞・雑誌系のニュアンスに近い。
* 学習コスト: すでに「報(报)」は日本語の「報道」「情報」などに通じる字で、イメージがつかみやすい。
* ĵurnal
* 提案: 报
* 理由: 「gazet」と同様、新聞（報紙）を連想できる漢字を使い回す。特に「日报」は「日刊新聞」の意味を持つため。
* 学習コスト: 「gazet」と同じ字を使い回すことで、偏旁総数を増やさない。
* litani
* 提案: 连祷
* 理由: 中国語で「連禱式」を指す標準的な言い方に近い。「祷」は「祈る」ニュアンスを持つ。1文字では意味を補足しにくいため2文字割当。
* 学習コスト: やや画数は多い(「连」7画＋「祷」10画=17画)が、他に簡潔な表記が存在しないため妥協。
* rozari
* 提案: 念珠
* 理由: カトリックのロザリオも漢語圏では「念珠」と呼ばれることがあり、仏教の数珠と同様、珠をつまぐる道具のイメージで共通性がある。
* 学習コスト: 「念」(8画)と「珠」(10画)の2文字。いずれも日本語圏でも馴染みのある漢字。
* recitativ
* 提案: 宣叙调
* 理由: 中国語で「レチタティーヴォ(叙唱)」は「宣叙调」が定訳。1文字に集約できる表現が無いため3文字。
* 学習コスト: 画数多め(「宣」9画、「叙」9画、「调」9画)だが、専門用語であるため割り切って割当。
* repertuar
* 提案: 曲目
* 理由: 「レパートリー」を「曲目」と表すのは中国語でも一般的(演奏曲目)。2文字ながらシンプル。
* 学習コスト: 「曲」(6画)、「目」(5画)で比較的少画数。「曲」は音楽関連語根にも流用可能。
* prelud
* 提案: 前奏
* 理由: 「前奏(曲)」は中国語でも「前奏」と略すことが多い。
* 学習コスト: 「前」(9画)、「奏」(9画)でやや多めだが、双方とも日本語にも馴染み深い。
* simfoni
* 提案: 交响乐
* 理由: 「交響曲」を中国語では「交响乐」と呼ぶのが一般的。
* 学習コスト: 3文字だが、音楽分野の代表的単語なので受容度は高い。画数は「交」(6画)＋「响」(9画)＋「乐」(5画)=20画。
* uvertur
* 提案: 序曲
* 理由: 中国語の「序曲」はそのまま「オーヴァーチュア」の訳語として使われる。
* 学習コスト: 「序」(7画)＋「曲」(6画)=13画。音楽用語であり、「曲」を再利用。
* partitur
* 提案: 总谱
* 理由: 「総譜」(フルスコア)は中国語では「总谱」と表すのが一般的。
* 学習コスト: 「总」(9画)＋「谱」(13画)=22画。専門用語であるため、やむを得ず2文字。
* sonet
* 提案: 十四行诗
* 理由: ソネットは中国語で「十四行诗」が定訳。
* 学習コスト: 4文字(合計21画)とやや多いが、詩形を示す固有名詞のため妥協。
* sponde
* 提案: 未対応
* 理由: 古典詩の韻律用語「長長格(揚揚格)」など、定訳が非常にマイナーであり、簡潔な漢字・熟語が見当たらないため今回は割当を見送る。
* 学習コスト: 必要な方は個別に学習する形とする。
* bard
* 提案: 吟游诗人
* 理由: 中国語の「吟游诗人」は「吟遊詩人」と同義。
* 学習コスト: 4文字でやや長めだが、「诗人」は既出。「吟」「游」も日本語で意味が推測しやすい。
* balad
* 提案: 民谣
* 理由: 中国語で「バラッド」を表す場合、「民谣」は比較的広義に使われる。
* 学習コスト: 2文字(「民」5画 +「谣」9画=14画)。意味も直感しやすい。
* himn
* 提案: 圣歌
* 理由: 「賛美歌」に近く、教会音楽的なニュアンスの中国語訳として「圣歌」(聖歌)が簡潔。
* 学習コスト: 「圣」(5画)＋「歌」(14画)。歌関連で「歌」は再利用。
* psalm
* 提案: 圣诗
* 理由: 「聖詩(psalm)」としての標準的な表現。「诗」は詩歌の詩。
* 学習コスト: 「圣」(5画)＋「诗」(8画)=13画。「圣」は上記の"hymn"で既出。
* kanzon
* 提案: 歌
* 理由: イタリア歌曲/シャンソンなど、広義に“歌”を示す字を使い回し。
* 学習コスト: 既に「圣歌」で登場済みの「歌」を再利用。
* strof
* 提案: 节
* 理由: 「詩の節」「連」などを表すとき、中国語で「节」は「段落」「節」のニュアンスもあり簡潔。
* 学習コスト: 5画で比較的少ない。日本語の「節」と同源なので連想しやすい。
* proz
* 提案: 散文
* 理由: 中国語・日本語ともに「散文」が定訳。1文字化は困難。
* 学習コスト: 「散」(9画)＋「文」(4画)=13画。標準的な用語。
* epope
* 提案: 史诗
* 理由: 中国語の「史诗」は「叙事詩」「大作詩」を示す。短く分かりやすい。
* 学習コスト: 「史」(5画)＋「诗」(8画)=13画。
* lirik
* 提案: 抒情诗
* 理由: 「抒情詩」「叙情詩」に当たる中国語として「抒情诗」が定訳。
* 学習コスト: 「抒」(7画)＋「情」(11画)＋「诗」(8画)=26画。やや多いが専門用語ゆえ割当。
* poet
* 提案: 诗人
* 理由: 「詩人」を意味する最も簡潔な漢字2文字。
* 学習コスト: 「诗」(8画)＋「人」(2画)=10画。「诗」は既出なので馴染みやすい。
* poem
* 提案: 诗
* 理由: 中国語・日本語ともに「詩」。1文字で詩を表し、極めてシンプル。
* 学習コスト: 既出文字なので新規学習不要。
* vers
* 提案: 诗句
* 理由: 「詩句」「詩の行」を表す際に使われる表現。
* 学習コスト: 「诗」(既出)＋「句」(5画)=合計13画。

1) poezi/诗/「詩」に相当。単独で「詩歌」の意味を含むため簡潔/画数(8画)も比較的少なく、日本語圏でも連想しやすい

2) idili/牧歌/牧歌＝田園的・牧歌的な詩の意が明瞭/既出の「歌」と同じく日本語圏でも理解しやすい

3) elegi/哀歌/哀歌＝嘆きの歌・挽歌の意を直接表現/「哀」「歌」とも比較的学習しやすい常用字

4) eklog/牧歌/2)と同義の牧歌的詩のため同じ「牧歌」を再利用/重複割当により学習コストを抑制

5) prozodi/韵律/「prosody」に対応。中国語では「韵律」が定訳/「韵」「律」はやや画数があるが意味が明確で再利用価値も高い

6) antologi/选集/「選集」が中国語で一般的な“アンソロジー”の訳/既出の「选」は後述(21)でも用いるので学習コスト削減にも寄与

7) literatur/文学/「文学」が最も直截的/「文」「学」はともに基礎的な漢字で、日本語圏にも通じる

8) beletr/美文/「美しい文章」という意味合いを端的に示せる/「美」「文」とも頻出字で学習しやすい

9) beletristik/美文学/8)をやや専門的・学術的に広げた形/「美」「文」「学」は既出の組み合わせなので学習負担が増えにくい

10) leksikon/词典/「語彙事典」→中国語では一般に「词典」が近い/「词」「典」いずれもよく使う字で、他語への応用可能

11) enciklopedi/百科/「百科(全书)」の略称として広く通じる/字数を抑えながら“百科事典”の意をカバー

12) etim/olog##/（未対応）/語根ではない(#付き)ため今回は割当を見送り

13) etimologi##/（未対応）/同上

14) hieroglif/象形文字/ヒエログリフは「象形文字」の意味が一般的/4文字とやや長いが認知度が高い表現

15) grafologi/笔迹学/筆跡学＝文字の書き方から性格などを分析する学問/「笔」「迹」「学」は比較的基本的な構成

16) filologi/文献学/philologyの主要訳が「文献学」/「文」「献」「学」はいずれも他分野で頻出のため再利用も可能

17) bibliografi/书目学/書誌学の意。「书目学」が中国語圏で比較的通用/「书」「目」「学」いずれも基本要素でまとめやすい

18) apolog/寓言/「apologue」は寓話・教訓談の意味で「寓言」とほぼ重なる/二字でまとまり、意味の想起も容易

19) logogrif/字谜/文字を使った判じ物(言葉遊び)なので「字谜」/簡潔かつ「谜」は他の謎解き系単語でも応用できる

20) silogism/三段论/三段論法の定訳として「三段论」/3文字ながら論理学用語として認知度高

21) krestomati/选本/模範的な詩文を集めた読本＝「选本」などが近い/「选」は6)との重複利用

22) korne/角膜/解剖学用語で中国語でも「角膜」が標準/二字で、医療分野でも通用性が高い

23) retin/视网膜/網膜＝中国語では「视网膜」が一般的/3字だが、医学標準用語として定着している

24) membran/膜/「膜」は単独でも「膜＝membrane」の意が明快/1文字で完結し、学習コストが低い

25) diafragm/横隔膜/解剖学で「横隔膜」が日中双方に通じる表現/やや画数は多いが、最も標準的な名称

lorn / 单筒镜 /

* + 理由: 「単眼の小型望遠鏡（spyglass, monocular）」的なニュアンスを表すため、「単筒(=シングルチューブ)＋镜(=見る器具)」を組み合わせました。
  + 学習コスト: 「单」「筒」「镜」は後述の binokl, kalejdoskop, spegul 等でも再利用する可能性がある漢字です。

1. teleskop / 望远镜 /
   * 理由: 中国語で「望远镜」は“遠くを見る器具”として最も一般的な望遠鏡の名称。日本語圏の人にも「望遠鏡」とほぼ同形で通じます。
   * 学習コスト: 「望」「远」「镜」はすでに「镜」を別項目(spegul等)で使う見込みがあり、やや画数は多めですが直感的には分かりやすい語。
2. binokl / 双筒镜 /
   * 理由: 中国語で「双筒望远镜」とも言いますが、もう少し短く「双筒镜」でも「二つの筒からなる見る装置」という意味で通じます。
   * 学習コスト: 「双」「筒」「镜」は上記とも共通し、追加の漢字学習コストを抑えられます。
3. kalejdoskop / 万花筒 /
   * 理由: 中国語・日本語でともに「万華鏡」は「万花筒」の表記が定番（繁体字では「萬花筒」）。直観的に“いろいろな花が万華鏡の中に見える”イメージが伝わりやすいです。
   * 学習コスト: 「万」「花」「筒」はある程度頻度が高く、他の語根（binokl等）とも「筒」の字を共有できます。
4. miop / 近视 /
   * 理由: 中国語で「近視」は「近视」。日本語でも「近視」と書くので、両言語で理解しやすい表現。
   * 学習コスト: 「近」「视」はそれぞれ常用漢字であり、日本語話者にも比較的なじみがあります（「視」の簡体字が「视」である点に注意）。
5. okul / 眼 /
   * 理由: 中国語で「眼睛」の略、または「眼」単体で“目”を指し示す用途が多いです。画数は多め（11画）ですが、日本語の「眼」と同形。
   * 学習コスト: 「眼」は「瞳孔」「眼科」など、今後も派生語の中核として使いやすい。
6. pupil / 瞳孔 /
   * 理由: 「瞳」だけでも“ひとみ”を表しますが、中国語では「瞳孔」がより専門的で明確。2文字になりますが誤解を避けるためにこちらを選択。
   * 学習コスト: 「瞳」はやや画数多め（17画）ですが、医学用語としては納得しやすい。
7. spegul / 镜 /
   * 理由: 中国語の「镜」＝日本語の「鏡」。最もストレートに“鏡”を指す一文字。
   * 学習コスト: 光学関連の道具（望远镜など）にも「镜」が含まれるため、他の語根との関連付けがしやすい。
8. lens / 镜片 /
   * 理由: レンズを中国語で端的に言うと「镜片」（直訳すると“鏡の片(ガラス)部分”）。一文字でレンズを表す字は存在しないので、2文字熟語としました。
   * 学習コスト: 「镜」は既出。「片」は“かけら・薄片”を表す常用漢字なので今後も流用可能。
9. radi / 光 /
   * 理由: “放射線の線”という意味合いであれば「射线」も考えられますが、より広い意味の“放射・光線”をコンパクトに表すなら「光」が便利。
   * 学習コスト: 「光」は画数が少なく、日本語でも常用。
10. radiator / 散热器 /
    * 理由: 自動車などの「ラジエーター」は中国語で「散热器」が一般的。
    * 学習コスト: 「散」「热」「器」はそれぞれ汎用度が高く、他の機械関連語でも出てくる可能性があります。
    * ※もし字数や画数が多いと感じるなら、未対応(スキップ) も一案です。
11. semafor / 信号 /
    * 理由: 腕木式などの特定の信号機を指すなら長めの言い方もありますが、ここでは“信号・合図”として分かりやすい「信号」を仮割り当て。
    * 学習コスト: 「信」「号」ともに頻出の常用漢字。
12. fonograf / 留声机 /
    * 理由: 古い蓄音機を中国語では「留声机」。日本語訳でも「留声機」という表記が通じる場合あり。
    * 学習コスト: 「留」「声」「机」はいずれも比較的よく出る漢字。
13. gramofon / 留声机 /
    * 理由: 上記 fonograf と同じく、中国語で「留声机」は“音を留める機械”として総称的。
    * 学習コスト: 同上。重複利用可能。
14. kartograf / 制图师 /
    * 理由: “地図製作者”は中国語で「制图师」が分かりやすい（直訳: “図を作る専門家”）。
    * 学習コスト: 「制」「图」「师」は後述のcartografiなどとも部分的に重複可。
    * ※もし 3文字が多いと感じるなら、未対応(スキップ) でも可。
15. atlas / 地图册 /
    * 理由: “地図帳”を中国語で端的に言うと「地图册」。
    * 学習コスト: 「地」「图」「册」はいずれもよく使う字。
16. skem / 图 /
    * 理由: 「図表」「図式」「模式図」など幅広く“スキーム（図解）”を表すなら、とりあえず「图」一字が最も汎用的。
    * 学習コスト: 「图」は map, kartograf などとも絡む重要漢字。
17. map / 地图 /
    * 理由: 現代中国語で地図は「地图」が基本。
    * 学習コスト: 「地」「图」は上記とも重複可能。
18. kartografi / 制图 /
    * 理由: “地図製作法”“製図法”の意なら、中国語では「制图」あるいは「制图学」など。ここでは2文字に簡略化。
    * 学習コスト: 「制」「图」は既出。
19. horoskop / 星象 /
    * 理由: “星占いの図”というニュアンスを簡潔にまとめて「星象」(星の様子・星の配置)としました。より日常的には「星座运势」(星座運勢)なども使われるが4文字なので省略。
    * 学習コスト: 「星」「象」は占星術(21)や天文学(23)とも関連可。
20. astrologi / 占星术 /
    * 理由: 中国語で占星術は「占星术」が一般的。「占星」(2文字)でも通じるが、より専門的に「～術」を付けた形。
    * 学習コスト: 「占」「星」「术」はいずれも画数がそれほど多くはない。
21. astr / 星 /
    * 理由: “天体”“星”を指す最も基本的な一文字として「星」。
    * 学習コスト: 他の派生語(占星, 星象, 天文学など)と結びつけやすい。
22. astronomi / 天文学 /
    * 理由: 中国語の「天文学」は日本語の「天文学」と同形で直観的。
    * 学習コスト: 「天」「文」「学」はいずれも初級レベルの常用字で、派生用途も広い。
23. kosmogoni / 宇宙起源论 /
    * 理由: “宇宙の生成・起源を論じる学説”という意味で、中国語では「宇宙起源论」のように表現されることが多い。
    * 学習コスト: 4文字で少し長めですが、「宇」「宙」は宇宙関連で再利用可。「论」は“論”の簡体字。
    * ※字数が多いと感じる場合は 未対応(スキップ) も可。
24. kosmograf / 宇宙学 /
    * 理由: “宇宙形状誌学”に近い分野は現代では概ね「宇宙学」(cosmology) と重なるため、ここでは簡潔に。
    * 学習コスト: 「宇」「宙」「学」はすでに他の天文関連語や「论」とも関連。
    * ※厳密には “cosmographer” と “cosmologist” はやや違いますが、実用上まとめました。あるいは 未対応 でも問題ありません。

kosmografi / 宇图 /

* + 選定理由: 「宇」(宇宙)＋「图」(図・描写) で「宇宙の記述」として直感的にまとめました。
  + 学習コスト: 本リスト内で「图」は後述の地図・記述要素の簡略形としても利用可。

1. geografi / 地理 /
   * 選定理由: 中国語で「地理」はそのまま“地理学”を意味し、日本語話者にも馴染みがある。
   * 学習コスト: 「地」(土へん)は今後の「geo～」にも使える汎用性あり。
2. geologi / 地质 /
   * 選定理由: 中国語で「地质」は“地質”を表す標準的表記。
   * 学習コスト: 「质」(質の簡体字)は日本語圏でも意味は推察可能。
3. geodezi / 测地 /
   * 選定理由: 本来は「大地测量学(測地学)」だが、短縮して2文字とした。
   * 学習コスト: 「测」(測の簡体字)は計測や観測などでも用いられ、今後の再利用が可能。
4. topografi / 地形 /
   * 選定理由: 中国語で「地形」は“地形学”・“地勢”などを大まかに包含し、日本語でも意味を推察しやすい。
   * 学習コスト: 「形」は比較的画数が少なく、他の派生語にも使い回し可能。
5. geometr / 几何家 /
   * 選定理由: 「几何」は“幾何学(geometry)”を指し、「～家」は専門家・学者を示す漢字。
   * 学習コスト: 「几何」はそのまま“幾何学”の意なので、両言語圏で理解しやすい。
6. geometri / 几何 /
   * 選定理由: “幾何学”を簡略化。中国語で「几何」単独でも“幾何学”を指すことが多い。
   * 学習コスト: 既出「几何」をそのまま流用。
7. meteor / 气象 /
   * 選定理由: 「大気現象」としての「気象」を優先。「流星」は範囲が狭く、ここでは大気全般を表す「気象」が適切。
   * 学習コスト: 「气」(気の簡体字)は「気候」「天气」などにも展開しやすい。
8. meteorolog / 气象学家 /
   * 選定理由: “気象学者”を中国語で言うなら「气象学家」が一般的。
   * 学習コスト: すでに「气象」「学」「家」は複数回登場予定で再利用可能。
9. meteorologi / 气象学 /
   * 選定理由: “気象学”をそのまま表現した形。
   * 学習コスト: こちらも既出要素の組み合わせ。
10. veter / 天气 /
    * 選定理由: 中国語で“天気”は「天气」が基本。日本語話者にも直感的に通じる。
    * 学習コスト: 「天」「气」はともに他単語でも多用される。
11. klimat / 气候 /
    * 選定理由: 中国語でも「气候」は“気候”の意味。日本語話者にも分かりやすい。
    * 学習コスト: 「気候」は頻用表現。
12. metronom / 节拍器 /
    * 選定理由: 中国語で“メトロノーム”は「节拍器」が標準。日本語での“拍子計”にも近く意味が取りやすい。
    * 学習コスト: 「器」は他の計測器でも再利用。
13. kronometr / 计时器 /
    * 選定理由: “時間を計る装置”＝「计时器」が分かりやすい。中国語でクロノメータの直訳にも近い。
    * 学習コスト: 「计」は計測用語として他でも多用。
14. manometr / 压力计 /
    * 選定理由: 中国語で“圧力計”は「压力计」が一般的。
    * 学習コスト: 既出の「计」を活用。
15. dinamometr / 测力计 /
    * 選定理由: “動力計・測力計”として中国語で「测力计」が通用する。
    * 学習コスト: 「测」＋「力」＋「计」で既出要素を再組み合わせ。
16. areometr / 比重计 /
    * 選定理由: “比重計”は中国語で「比重计」と呼ぶのが一般的。
    * 学習コスト: 「计」はおなじみの計測要素。
17. higrometr / 湿度计 /
    * 選定理由: “湿度計”に相当。中国語でも「湿度计」で通じる。
    * 学習コスト: 「湿」「度」「计」いずれも計測関連で使われやすい漢字。
18. pilk / 球 /
    * 選定理由: “ボール(遊び用)”は中国語で一般に「球」と言えば通じる。
    * 学習コスト: 後続の「glob」「sfer」と同じ字にして、学習負荷を下げられる。
19. bul / 团 /
    * 選定理由: “かたまり・塊”は中国語で「团」(団)が最もシンプル。
    * 学習コスト: 「球」との区別をつけたいので、あえて「团」を採用。
20. glob / 球 /
    * 選定理由: “球体・グローブ”という意味が強いため、再び「球」。
    * 学習コスト: 19番同様で重複割当による学習効率化。
21. sfer / 球 /
    * 選定理由: 数学的な「sphere」も「球」で十分に対応可能。
    * 学習コスト: 同上。すでに登場済み。
22. disk / 盘 /
    * 選定理由: “円盤”を最短で表すなら、中国語の「盘」(簡体字)が分かりやすい。
    * 学習コスト: 単体字ゆえ画数も比較的少なく済む。
23. cilindr / 圆柱 /
    * 選定理由: 数学用語として“円柱”は中国語で「圆柱」。
    * 学習コスト: 「圆」は後述(25番)の「円形」にも対応できるため、学習上連想しやすい。
24. rond / 圆 /
    * 選定理由: “円形・丸い”を最も直接的に示す簡体字。日本語の「円」と同源で意味も取りやすい。
    * 学習コスト: 本リスト中で「圆」はすでに「圆柱」とセットで登場予定。

cirkl

* + 提案漢字: 圆
  + 選定理由: 「円形」「丸い」を意味する簡体字で、日本の「円(えん)」とも字形・意味が近く、直感的に“circle”を連想しやすい。
  + 学習コスト: 既出偏旁との重複は少ないが、画数は9画で比較的少なく、円形の意味を表すには最適。

1. urn
   * 提案漢字: 瓮
   * 選定理由: 中国語では古代の素焼きの壺・甕を指す単字。エスペラントの“(古代の)壷”のニュアンスに近い。
   * 学習コスト: やや馴染みが薄い漢字だが画数は8画と多くはない。壶(壺)との差別化でこちらを採用。
2. kuler
   * 提案漢字: 勺
   * 選定理由: 「さじ」「ひしゃく」を表す簡体字。中国語の日常で「勺子」としても使われる。
   * 学習コスト: 3画と非常に画数が少なく、一目で「さじ」と連想しやすい。
3. botel
   * 提案漢字: 瓶
   * 選定理由: 「びん」を意味する最も一般的な簡体字。日本語でも「瓶」と書くため意味が伝わりやすい。
   * 学習コスト: 10画だが、日本語圏・中国語圏とも馴染みがあり覚えやすい。
4. plet
   * 提案漢字: 盘
   * 選定理由: 「盆」「皿」「トレー」などを広く指せる簡体字。エスペラントの“tray”に対応しやすい。
   * 学習コスト: 画数は11画程度だが、日中で「盤」として広く使われる語形で分かりやすい。
5. tas
   * 提案漢字: 杯
   * 選定理由: 「コップ」「茶碗」など液体を入れる“杯”を表す常用字。
   * 学習コスト: 8画で中庸、日中とも「杯」として認知されやすい。
6. bovl
   * 提案漢字: 碗
   * 選定理由: 中国語で「碗」はボウル・お椀を意味する最適な単字。日本語の「腕」と同形で紛らわしいが、“わん”の音からも類推は可能。
   * 学習コスト: 13画とやや多いが、器を表す漢字としては代表的。
7. kuv
   * 提案漢字: 桶
   * 選定理由: 「大桶」「タブ(桶状の容器)」を最も直接的に表す簡体字。
   * 学習コスト: 11画。後述の「barel」「sitel」でも同じ字を使い回し可能。
8. kaldron
   * 提案漢字: 锅
   * 選定理由: 簡体字「锅」は「鍋」「大鍋」「釜」に相当し、大釜(かま)や大鍋を広く表せる。
   * 学習コスト: 9画。「鍋」に相当する形で日本人にも理解しやすい。
9. pelv
   * 提案漢字: 盆
   * 選定理由: 中国語でも「洗脸盆」など「たらい」や「洗面器」の意味を持つ。
   * 学習コスト: 9画。同様の意味で日中とも使われるため直感的。
10. pot
    * 提案漢字: 壶
    * 選定理由: 中国語で「壶」は壺・ポット・急須などを指す一般的な単字。
    * 学習コスト: 10画で比較的覚えやすく、日本語の「壺(壷)」に近いイメージ。
11. barel
    * 提案漢字: 桶
    * 選定理由: 「たる」も広義には「大きな桶」。既出のkuv(大桶)と同義字で統一し、文字の使い回しを図る。
    * 学習コスト: 既に登場(kuv)しているため追加負担なし。
12. vaz
    * 提案漢字: 器
    * 選定理由: 「器皿」「容器」を表す基幹的な単字で、エスペラント“vase/vessel”の意味域に相当。
    * 学習コスト: 15画とやや多いが、日本語の「器」と同じ形で意味も直感的。
13. korb
    * 提案漢字: 篮
    * 選定理由: 簡体字で「篮」は「籃」の略。カゴ・バスケットに相当する代表的な単字。
    * 学習コスト: 14画とやや多いが、中国語圏では非常に一般的。日本語でも「籃」は見かける。
14. sitel
    * 提案漢字: 桶
    * 選定理由: バケツ(提桶)にも「桶」が広く使われるため流用。
    * 学習コスト: 既出のkuv, barelと同じ字を再利用。
15. kalik
    * 提案漢字: 杯
    * 選定理由: 聖杯(chalice)やゴブレットも、広義には“杯”として表現可能。
    * 学習コスト: tas(杯)と同じ字を再利用。
16. kruĉ
    * 提案漢字: 壶
    * 選定理由: (取っ手付)水差し・ピッチャーも、現代中国語では「壶」に含まれることが多い。
    * 学習コスト: 既出(pot)と同じ字を活用。
17. karaf
    * 提案漢字: 瓶
    * 選定理由: カラフやデキャンタは「細長い瓶」の一種。瓶と共通化して学習コストを低減。
    * 学習コスト: 既出(botel)の再利用で追加負担なし。
18. forn
    * 提案漢字: 炉
    * 選定理由: 中国語で「炉」は炉全般(オーブン・かまど)を指す単字。
    * 学習コスト: 8画と比較的少なく、日本語の「炉」と同形。
19. kamen
    * 提案漢字: 炉
    * 選定理由: 暖炉(壁炉)も単に「炉」として表現可能。すでに「forn」で用いた字を再利用。
    * 学習コスト: 既出(forn)と同じ字を再利用。
20. kaserol
    * 提案漢字: 锅
    * 選定理由: シチュー鍋・平底鍋などの調理用鍋を広くカバーできる単字。
    * 学習コスト: kaldron(锅)と同字で追加負担なし。
21. pat
    * 提案漢字: 锅
    * 選定理由: フライパンも中国語では“平底锅”等と呼び、“锅”で調理器具全般を指せる。
    * 学習コスト: 同上(既出)のため新規負担なし。
22. lad
    * 提案漢字: 锡
    * 選定理由: 「錫(すず)」の簡体字。ブリキ(=鉄に錫をめっき)連想から単字で「锡」を割り当て。
    * 学習コスト: 10画でそこそこだが、「tin plate」を最短で表す手段として選択。
23. lamen
    * 提案漢字: 片
    * 選定理由: 「薄片」「スライス」を意味する最適な単字。
    * 学習コスト: 4画と画数が少なく、既出の要素ともあまり競合しない。
24. karton
    * 提案熟語: 纸板
    * 選定理由: 「厚紙」「段ボール」「紙板」を指す2文字熟語。単字で“厚紙”を表す適当な文字がないため2字とした。
    * 学習コスト: 新規2字(纸, 板)だが「紙」と「板」の組合せで意味が直感的に把握しやすい。

apopleksi / 中风 / 「卒中」「脳卒中」に相当。中国語の一般的な用語 / 新出：「中」「风」。どちらも常用度が高く、意味推測もしやすい

1. paroksism / 发作 / 「発作」「発症」「急に症状が出る」という意味で、中国語医療用語として定着 / 新出：「发」「作」。いずれも非常に頻出の漢字で、再利用の可能性大
2. anapest / 未対応 / 詩の韻律用語であり、1文字や簡単な熟語で直感的に示すのが困難なため今回は未対応とする / ―
3. antitez / 对立 / 「アンチテーゼ＝対立概念」に近い意。中国語でも「对立」は一般的 / 新出：「对」「立」。基本的な漢字で汎用性がある
4. mani / 狂 / 「マニア（狂熱的・常軌を逸した状態）」を1文字で示すなら「狂」が最も近い / 新出：「狂」。日本語「狂(くる)う」、中国語「疯狂」などとも関連し理解しやすい
5. superstiĉ / 迷信 / そのまま「迷信」として2文字熟語を採用 / 新出：「迷」「信」。日本語・中国語ともに意味がつかみやすい
6. fanatik / 狂热 / 「狂信的」「ファナティック」な熱狂を指す。中国語では「狂热」が自然 / 「狂」は既出。新出：「热」。日常でも使う字なので覚えやすい
7. bigot / 狂信 / 「狂信者」「偏狭な信仰者」をイメージ。「fanatik」の派生的ニュアンスとして「狂信」を割り当て / 「狂」「信」は既出。新出文字なし
8. lunatik / 狂人 / 「精神的に常軌を逸した人」「lunatic」を指す。中国語でも「狂人」という言い方は通じる / 「狂」は既出。新出：「人」。ごく基本字
9. somnambul / 梦游 / 「夢遊病」「睡眠中に歩き回る」。中国語で「梦游」は通じる / 新出：「梦」「游」。どちらも頻出の部首(夕, 氵など)を含む
10. idiot / 白痴 / 医学的「白痴」は日中ともに専門用語的に通じる。「バカ」より医学的 / 新出：「白」「痴」。やや画数は多いが医学用語として定着
11. paraliz / 麻痹 / 「麻痺」の意。日中ともに医療用語として対応 / 新出：「麻」「痹」。どちらも医療文脈で用いられやすい
12. spasm / 痉挛 / 「けいれん」を指す中国語の代表的専門用語 / 新出：「痉」「挛」。医学・生理学関連で使用
13. hipnot / 催眠 / 「催眠」「催眠状態」に相当。中国語でも「催眠术」などで用いる / 新出：「催」「眠」。眠(目+冖)は睡眠関連で今後も出る可能性大
14. apoteoz / 神化 / 「神格化」「神にする」。中国語でも「神化」は「神格化」とほぼ同義 / 新出：「神」「化」。どちらも一般的
15. sven / 昏倒 / 「失神」「意識を失う」動作を表す際、中国語では「昏倒」がわかりやすい / 新出：「昏」「倒」。今後も「人が倒れる」を表現する際に「倒」は使える
16. sinkop / 昏厥 / 医学用語としての「失神」「意識喪失(一時的)」。svenとほぼ同義だが本格的な臨床用語 / 「昏」は既出。新出：「厥」。専門度は高いが医学用語として整合的
17. vort / 词 / 「言葉」「単語」を指す。中国語で「词」は最も基本的な単語表現 / 新出：「词」。言(讠)偏は言語関連で今後も有用
18. verb / 动词 / 「動詞」。中国語の文法用語として定番 / 「词」は既出。新出：「动」。日常でも「运动(運動)」などよく見かける
19. fraz / 句 / 「文」「文章」「文の単位としての一句」を示すなら「句」がシンプル / 新出：「句」。日本語の「句読点」にも通じる
20. propozici / 命题 / 「命題」「提案」「論理的主張」。中国語で論理・数学的文脈の「命题」に対応 / 新出：「命」「题」。論理や学術でよく使う
21. vokativ / 呼格 / 「呼格」。中国語で「呼格」はそのまま文法用語 / 新出：「呼」「格」。呼は「叫ぶ」、格は「文法上の格」
22. ablativ / 夺格 / 「奪格」。中国語文法用語として「夺格」をそのまま使う / 「格」は既出。新出：「夺」。意味合いも直感的に対応
23. akuzativ / 宾格 / 「対格(目的格)」。中国語の文法では「宾格」が広く使われる / 「格」は既出。新出：「宾」。文法用語として標準
24. idiotism / 习语 / 「慣用句・慣用表現」全般。中国語では「习语」が比較的汎用的 / 新出：「习」「语」。どちらも言語学習でよく登場

ekran / 屏 /

* + 選定理由: 現代中国語では「屏幕(ピンムー)」が「スクリーン」を表すが、簡略化して単独の「屏」を充てた。日本語でも「屏風」から「画面」のイメージを連想可能。
  + 学習コスト: 「屏」は9画程度で、比較的画数は少なめ。

1. panel / 板 /
   * 選定理由: パネル(板状のもの)を指す漢字として、中国語では「面板」などの語で「板」が使われる。
   * 学習コスト: 「板」は8画。後述の tabul（「板」）と共通化することで文字種を抑制できる。
2. plad / 盘 /
   * 選定理由: 「大皿」の意味合い。中国語で皿や皿状のものを示す「盘(盤)」を用いる。
   * 学習コスト: 「盘」は9画ほど。日本語の「盤」の簡体字であり、大皿のイメージが伝わりやすい。
3. teler / 皿 /
   * 選定理由: 「皿」（小皿・プレート）そのものを表す。日本語でも「皿」、中国語でも部首としては同形。
   * 学習コスト: 5画と少なく、直感的に器物を連想できる。
4. tabl / 桌 /
   * 選定理由: テーブルを意味する「桌(桌子)」。日本語ではやや馴染みが薄いが、中国語圏で「机」とは別に「桌」として区別される。
   * 学習コスト: 10画程度。
5. tabul / 板 /
   * 選定理由: 「板」。すでに panel で「板」を用いているため同じ字を再利用。
   * 学習コスト: 使い回しで文字総数を削減。
6. klap / 阀 /
   * 選定理由: 弁やバルブ(機械弁)のイメージに近い「阀」(本来は「阀门」で「バルブ」)。
   * 学習コスト: 6画と比較的少なく、機械要素を示す語に再利用しやすい。
7. kloŝ / 钟 /
   * 選定理由: 鐘形ガラス器(ベルジャー)を簡略に「鐘」の字で表現。厳密には「钟罩」が正確だが、1文字に圧縮。
   * 学習コスト: 9画。「金(钅)＋中」の組み合わせで、日本語話者にも「鐘」のイメージが伝わる可能性がある。
8. ĉel / 细胞 /
   * 選定理由: 「細胞」は中国語で一般的に「细胞」と表す。1文字で正確に「細胞」を示す字は存在しないため、2文字熟語を採用。
   * 学習コスト: 「细(8画)＋胞(9画)」計17画。やや多いが、生物用語として定着しているため分かりやすい。
9. vezik / 囊泡 /

* 選定理由: 生物学で「囊泡(ベシクル)」を指す語。水泡・膀胱などのニュアンスを総合した意味に近い。
* 学習コスト: 「囊(10画)」＋「泡(8画)」の計18画。どちらも一度学べば応用が利きやすい。

1. ampol / 灯泡 /

* 選定理由: エスペラントではアンプル(医療用アンプル/電球)の両方の意味を含むが、中国語では電球を「灯泡」と呼ぶ。比較的通じやすい。
* 学習コスト: 「灯(6画)」＋「泡(8画)」＝14画。「泡」は vezik と共通。

1. kapsul / 胶囊 /

* 選定理由: カプセルを示す標準的な中国語が「胶囊」。1文字では適切な簡体字がないため2文字熟語を使用。
* 学習コスト: 「胶(10画)＋囊(10画)」計20画。ただし「囊」は vezik ですでに登場済み。

1. trog / 槽 /

* 選定理由: 飼い葉桶やトラフを意味する「槽」。漢字として「水槽」「料槽」など「～槽」は多用途に用いられる。
* 学習コスト: 10画。見た目で「槽＝溝状の器」と想起しやすい。

1. palanken / 轿 /

* 選定理由: 東洋の「かご形の乗物」を中国語では「轿子(花轿)」等で表すが、1文字化して「轿」。
* 学習コスト: 9画。「车」偏を含み、乗り物関連であることを示唆。

1. valiz / 箱 /

* 選定理由: 旅行かばん(スーツケース)を箱状のイメージで「箱」。中国語でも「行李箱」と呼ぶことが多い。
* 学習コスト: 11画。のちの kofr, kest とまとめて再利用可能。

1. tornistr / 背包 /

* 選定理由: ランドセルやリュックに相当。中国語では「背包」が一般的。
* 学習コスト: 「背(9画)＋包(5画)」合計14画。「包」は簡単で、再利用範囲も広い。

1. kofr / 箱 /

* 選定理由: トランクや大型スーツケースなど「箱」を用いて共通化。
* 学習コスト: 既出の「箱」を使い回し。

1. katakomb / 墓穴 /

* 選定理由: カタコンベ(地下墓地)を直訳的に「墓穴」とした。厳密には「地下墓穴」だが、2文字で簡略化。
* 学習コスト: 「墓(13画)＋穴(5画)」＝18画。

1. katafalk / 棺台 /

* 選定理由: 棺台(葬列時の台)を2文字で表す。「架」でも良いが、画数の少ない「台」を採用。
* 学習コスト: 「棺(10画)＋台(5画)」＝15画。

1. sarkofag / 石棺 /

* 選定理由: サルコファガス(石棺)そのものを示す。
* 学習コスト: 「石(5画)＋棺(10画)」＝15画。katafalk で既出の「棺」を再利用。

1. uj / 器 /

* 選定理由: 容器全般(うつわ)を表す接尾辞に対応する汎用漢字「器」を採用。
* 学習コスト: 15画とやや多いが、「容器」や「器皿」などで広く使われるため便利。

1. kest / 箱 /

* 選定理由: 「箱(かこい)」を意味する直接的な字。「箱」で他の語根とも共用。
* 学習コスト: 既出の「箱」を使い回し。

1. skatol / 盒 /

* 選定理由: 小箱・手箱のイメージ。中国語では小型の箱を「盒(盒子)」と呼ぶ。
* 学習コスト: 9画。kest(箱) より小型のニュアンスを区別できる。

1. hangar / 机库 /

* 選定理由: 航空機の「格納庫」は中国語で「机库」。単独1文字での対応が難しいため2文字。
* 学習コスト: 「机(6画)＋库(7画)」＝13画。どちらも比較的シンプル。

1. kupe / 车厢 /

* 選定理由: (客車の)車室は中国語で「车厢」が一般的。google翻訳の「隔间」はやや汎用的(区画)なためこちらを優先。
* 学習コスト: 「车(4画)＋厢(11画)」＝15画。偏旁「车」は 轿 とも関連。

muzik

* + 提案: 乐
  + 理由: 中国語「音乐」の省略形として「乐」を用いれば、「音楽」の意味合いを端的に示すことが可能。日本語圏にとっても「楽」という字を思い起こしやすい。
  + 学習コスト: 新規導入(「乐」)。画数は少なめ。

1. konservatori
   * 提案: 乐院
   * 理由: 中国語で「音乐学院」は音楽の専門教育機関を指すが、簡略化して「乐院」とすることで“音楽学校(コンセルヴァトリ)”を示す。
   * 学習コスト: 「乐」は既出、新規に「院」を導入。
2. kantor
   * 提案: 领唱
   * 理由: 「领唱」は直訳すると「リードシンガー」「先導して歌う人」。宗教施設などで先導役として歌う“聖歌隊員”に対応しやすい。
   * 学習コスト: 新規で「领」「唱」を導入(計2字)。以降「唱」は「歌う」関連で再利用可能。
3. korife
   * 提案: 领唱
   * 理由: 「chorus leader」に近い意味。実際には「合唱指揮者」に近い表現もあるが、簡略化のため「领唱」を再利用。
   * 学習コスト: 「领」「唱」は上記(3)で導入済み。追加の新規文字なし。
4. koncert
   * 提案: 乐会
   * 理由: 「音乐会」の略。コンサートの意味を簡潔に示す。
   * 学習コスト: 「乐」は既出、新規で「会」を導入(画数は少なめ)。
5. bal
   * 提案: 舞会
   * 理由: 中国語の「舞会」はダンスパーティー、舞踏会の意味。
   * 学習コスト: 「会」は既出、新規に「舞」を導入。
6. ĥor
   * 提案: 合唱
   * 理由: 中国語でも「合唱」は“合唱・合唱団”の意。発音は hé chàng。
   * 学習コスト: 新規に「合」を導入、「唱」は(3)「kantor」で既出。
7. korus
   * 提案: 合唱
   * 理由: 「ĥor」と同義の「コーラス」「合唱団」を指すので同一表記を再利用。
   * 学習コスト: 「合」「唱」は既出につき追加負担なし。
8. kant
   * 提案: 唱
   * 理由: 「歌う」「歌」のコア意味を簡潔に1文字で示す。「唱」は歌唱を表す漢字。
   * 学習コスト: (3) で既出の「唱」そのまま。追加負担なし。
9. danc

* 提案: 舞
* 理由: 「舞」は“踊る”を端的に表す。
* 学習コスト: (6)「舞会」で既出の「舞」を流用。追加負担なし。

1. aks

* 提案: 轴
* 理由: 中国語で「轴」は“軸／アクス”を直接表す字。
* 学習コスト: 新規に「轴」を導入。

1. kern

* 提案: 核
* 理由: 「核心」「核(種)」「核(原子核)」など、中心・中核を表す意味に通じる。
* 学習コスト: 新規に「核」。

1. atom

* 提案: 原子
* 理由: 中国語・日本語共に「原子」が最も標準的。“atom”の直訳。
* 学習コスト: 新規で「原」「子」を導入(2文字)。

1. molekul

* 提案: 分子
* 理由: 中国語・日本語でも「分子」は“molecule”の意味。
* 学習コスト: 新規で「分」を導入、「子」は(13)で既出。

1. polus

* 提案: 极
* 理由: 中国語簡体字で「极」(極)は“極地・極点”を示す。
* 学習コスト: 新規に「极」。

1. magnet

* 提案: 磁
* 理由: 本来「磁铁」「磁石」が“磁石(マグネット)”だが、1文字「磁」で“磁性(磁力)”を想起できるように簡略化。
* 学習コスト: 新規に「磁」。

1. bas

* 提案: 低音
* 理由: “バス(低い音域)”を素直に表現。
* 学習コスト: 新規で「低」「音」を導入(2文字)。

1. kontrabas

* 提案: 低音提琴
* 理由: 中国語で「コントラバス」は「低音提琴」または「倍大提琴」等。ここではわかりやすい「低音提琴」を採用。
* 学習コスト: 「低音」は(17)で既出、新規「提」「琴」。

1. bariton

* 提案: 男中音
* 理由: 中国語で“バリトン”は「男中音」が一般的表現。
* 学習コスト: 新規に「男」「中」を導入、「音」は(17)で既出。

1. balet

* 提案: 芭蕾
* 理由: 中国語の「芭蕾」は“バレエ”の音訳。日本語でも連想しやすい。
* 学習コスト: 新規で「芭」「蕾」を導入(2文字)。

1. balast

* 提案: 压载
* 理由: 中国語で「压载(物)」は船舶や気球のバラストを指す。
* 学習コスト: 新規に「压」「载」を導入(2文字)。

1. pil

* 提案: 电池
* 理由: 中国語で「电池」はバッテリーセル(単電池)にも使われる。
* 学習コスト: 新規に「电」「池」を導入(2文字)。

1. bateri

* 提案: 电池
* 理由: 通常「电池」は単体セルも含むが、一般にバッテリー全般を指す表現としても使われることが多い。
* 学習コスト: 「电」「池」は(22)で既出。追加負担なし。

1. balon

* 提案: 气球
* 理由: 中国語「气球」は“バルーン”の意味。
* 学習コスト: 新規に「气」「球」を導入(2文字)。

1. bomb

* 提案: 炸弹
* 理由: 中国語の最も一般的な“爆弾”表現。「炸」=爆発・「弹」=弾。
* 学習コスト: 新規に「炸」「弹」を導入(2文字)。

petard

* + 提案: 爆
  + 理由: 「爆」は「爆発」「爆竹」など、爆音を伴う火工品を連想しやすい。日本語圏でも「爆」という字は「爆発」の意味で広く知られているため、火薬系のイメージを結び付けやすい。
  + 学習コスト: 新出。比較的画数は多い(19画)が、「火+暴」の組み合わせは理解しやすいかもしれない。

1. step（大草原）
   * 提案: 原
   * 理由: 「原」は「原っぱ」「原野」のように広い平地を想起させ、日本語・中国語ともに“平原”のニュアンスを掴みやすい。
   * 学習コスト: 新出だが比較的画数も少ない(10画)。
2. promontor（岬・みさき）
   * 提案: 海角
   * 理由: 中国語で「海角」は海岸線が突き出た岬を指す表現として通じる。日本語話者にとっては「海+角」で「海辺の突端」と推測しやすい。
   * 学習コスト: 「海」と「角」の2文字。「海」は後の「地中海」(mediterane)などでも使う見込みがあるため、再利用が効く。
3. alte（タチアオイ等、アオイ科植物）
   * 提案: 葵
   * 理由: アオイ科の植物全般をイメージしやすい字。日本語の「葵」は「タチアオイ」「フユアオイ」「ムクゲ」などを連想する。中国語でも「葵花(ひまわり)」「木槿(ムクゲ：一種の葵科)」など、“葵”は広くアオイ科のイメージ。
   * 学習コスト: 新出（12画）だが、日本語圏・中国語圏ともに比較的なじみ深い（「向日葵(ひまわり)」「葵祭」など）。
4. lian（熱帯のつる植物）
   * 提案: 蔓
   * 理由: 「蔓」は「つる」を意味し、植物が絡みつくイメージを直接表す。中国語でも「蔓」字で「蔓延」「藤蔓」など“絡み・伸びる”ニュアンス。
   * 学習コスト: 新出（14画）。ただし“艹(くさかんむり)+曼”構成と分解すれば把握しやすいかもしれない。
5. avenu（並木道・林荫大道）
   * 提案: 林荫道
   * 理由: 中国語の「林荫大道」は「並木道」に相当する定訳。日本語話者にとっては「林(林)＋荫(陰)＋道」で「木陰のある道」というイメージを推測できる。
   * 学習コスト: 林は画数少なめ、荫(「陰」の簡体字)はやや学習負荷があるが、以降の「～道」で道路系を再利用できる。
6. bulvard（大通り）
   * 提案: 大道
   * 理由: 「大道」は直訳すれば「大きな道」で、日本語・中国語いずれも「大通り」のニュアンスが伝わりやすい。
   * 学習コスト: 「大」は画数が少なく、「道」は後述の単語でもたびたび出現。
7. ale（並木道・園路・小道）
   * 提案: 径
   * 理由: 中国語の「花径」「小径」が示すように庭園や小道を表し、日本語でも「こみち」「小径」で通じる。
   * 学習コスト: 単一漢字で済むので比較的負担が軽い。
8. strat（街路）
   * 提案: 街
   * 理由: 「街」は日本語・中国語とも「まちなかの通り」を意味するシンプルな字。「街路」そのもののイメージに近い。
   * 学習コスト: 単一漢字。道路系としては分かりやすい。
9. trotuar（歩道・人行道）

* 提案: 人行道
* 理由: 中国語で「人行道」は「歩道」の定訳。日本語話者にも「人(ひと)が行く道」で何となく想像がつきやすい。
* 学習コスト: 「人」「行」「道」はいずれも基本的な字。すでに「道」は再使用。

1. voj（道）

* 提案: 路
* 理由: 中国語の「路」は道路の意味で最も一般的。日本語でも「路線」「道路」の“路”として馴染み深い。
* 学習コスト: 単一漢字。「路」は画数やや多め(13画)だが、“足へん(⻊)+各”の組合せとして覚えられる。

1. ŝose（車道・幹線道路）

* 提案: 车道
* 理由: 中国語で「车道」は「車が通る道」の意。日本語話者にも「車＋道」で“車両用レーン・車道”と推測しやすい。
* 学習コスト: 「车(車の簡体字)」は要学習だが、以降も“交通”関連で再利用が考えられる。「道」は既出。

1. ekvator（赤道）

* 提案: 赤道
* 理由: これは日中いずれも「赤道」が既成の訳語。
* 学習コスト: 「赤」「道」ともに既知または簡単な字。すでに「道」は再使用。

1. tropik（回帰線）

* 提案: 回归线
* 理由: 中国語で「北回归线」「南回归线」はTropic of Cancer/Capricornに対応する。まとめて「回归线」といえば“回帰線”の概念として通じる。
* 学習コスト: 「回」「归(歸の簡体)」「线(線の簡体)」はいずれも比較的基本的な簡体字。

1. orbit（軌道）

* 提案: 轨道
* 理由: 中国語では「轨道」は天体や人工衛星の「軌道」を指す標準的な用語。日本語圏でも「軌(轨)＋道」と見れば“道筋”の連想で理解しやすい。
* 学習コスト: 「轨」は「車へん＋九」の形で比較的覚えやすい。「道」は既出。

1. zodiak（黄道帯・十二宮）

* 提案: 黄道
* 理由: 天文学上、太陽が通る道を「黄道」と呼ぶ。日本語でも「黄道帯」の「黄道」で意が通じる。
* 学習コスト: 「黄」は新出だが、「道」は既出。

1. meridian（子午線）

* 提案: 子午线
* 理由: 中国語の「子午线」は経線(とくに本初子午線など)の呼称で、子午＝南北を指す。日本語でも「子午線」という。
* 学習コスト: 「子」「午」は画数が少ない。「线」は既出(「回归线」など)。

1. orient##（※語根でない注記付き）

* 提案: 未対応
* 理由: 末尾に##が付されており、“語根ではない”との注釈があるため割当を行わず。
* 学習コスト: －

1. orient（東・方位を定める）

* 提案: 东
* 理由: 日本語「東」、中国語簡体字「东」はともに“東”を表す。
* 学習コスト: 画数(5画)も少なく、方角字の中ではわかりやすい。

1. okcident（西）

* 提案: 西
* 理由: 東西南北の1つで、両言語に共通。
* 学習コスト: 単一漢字で画数も少ない。

1. sud（南）

* 提案: 南
* 理由: 同上(方角の基本字)。
* 学習コスト: 単一漢字。

1. nord（北）

* 提案: 北
* 理由: 同上(方角の基本字)。
* 学習コスト: 単一漢字。

1. mediterane（地中海）

* 提案: 地中海
* 理由: 日中ともに同じ表記「地中海」。
* 学習コスト: 「地」「中」「海」はそれぞれ比較的初級レベルの漢字かつ他でも再利用見込みあり(「海角」など)。

1. pacifik（太平洋）

* 提案: 太平洋
* 理由: 日中いずれも「太平洋」が慣用的名称。
* 学習コスト: 「太」「平」「洋」いずれも比較的基本。

1. atlantik（大西洋）

* 提案: 大西洋
* 理由: 同様に日中で共通名称「大西洋」。
* 学習コスト: 「大」は既出、「西」も方角字で既出、「洋」は新出だが海洋名で出番多し。